

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS

しらか
たか
広報

1.12
JAN 2017
NO.1200

謹賀新年



酉年

迎春

「皆様から愛される町 しらたかを目指して」

白鷹町長 佐藤 誠七



新年

明けましておめでとうござ
います。皆様におかれまし
ては、健やかに新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

昨年10月の白鷹町長選挙におきまし
ては、第3期目の町政を担わせていた
だくこととなり、新年を迎え、さらに
身の引き締まる思いであります。初心
にかえり、引き続き町民の皆様ととも
につくりあげる「共創のまちづくり」
の理念のもと、打てば響く町政運営に
全力で取り組んでまいります。

さて、今年、本町では災害に強いま
ちづくりの拠点となる「まちづくり複
合施設」の実施設設計を踏まえ、整備工
事に着手する予定であります。既存の
中央公民館及び役場庁舎につきまして
は、大地震で倒壊・崩壊の危険性が高
いとされておりますことから、その
対応は急務であり、中央公民館機能と
役場庁舎を併せた複合施設として整備
し、町民の皆様の安全・安心を確保し
てまいります。

さらに、木造となるこの複合施設に
町内産の木材を使用することで、林業・
木材産業の再生・振興を図るモデルと
するとともに、県が進める「森林（モ
リ）ノミクス」と連動した緑の循環シ
ステムの構築を目指し、「育てる林業」
から「使う林業」への転換を図ってま

まいります。

また、今年の夏には、山形県、宮城県、
福島県を会場に南東北インターハイが
開催されます。その中において、本町
は「女子ソフトボール競技大会」の会
場になり、各都道府県から48チームが
来町し競技が行われます。昨年12月に
は、競技会場となるソフトボール場の
改修工事も完了いたしました。平成4
年に開催された「べにばな国体」と同
様に、町全体がたくさんの感動にあふ
れ、全国各地から訪れる選手・応援の
皆様に「白鷹町にまた来たい」と思っ
ていただけるような大会となるよう、
温かい「おもてなし」の精神で準備を
進めてまいりますので、皆様のご協
力をお願いいたします。

そして、本年は第5次白鷹町総合計
画後期基本計画ならびに白鷹町まち・
ひと・しごと創生総合戦略に基づくま
ちづくりの折り返しを迎える年でもあ
ります。引き続き「子育て教育」「雇用・
産業」「地域」「防災」の4つの柱を重
点に将来のまちづくりの基盤を着実に
整備し、「日本の紅（あか）をつくる町」
白鷹町として、皆様から愛される町を
目指してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして飛
躍の年となりますよう心から祈念申し
上げ、年頭のごあいさついたします。



「皆様の負託に応える より良いまちづくりへ」

白鷹町議会議員 遠藤 幸一

新年 明けましておめでとうござ
います。町民の皆様におか
れましては、希望に満ちた新春をお迎
えのことと、心からお慶び申し上げま
す。

昨年は、全国各地で大地震や火山の
噴火、台風被害などに見舞われました
が、本町においては、大きな災害もな
く過ごせましたことに安堵していると
ころであります。今年も災害のない安
全で安心な生活が送れる年となるよう
お祈り申し上げます。

さて、町議会では、昨年10月に町長
選挙に併せて補欠選挙が行われ、新た
な議員を迎えスタートしております。
今、地方議会は地方自治体の意思を決
定する機関として、また、執行機関を
監視する機関として町民の皆様の声や
ご意見を町政に反映していくことが重
要になっていきます。昨年から選挙権年
齢が18歳以上に引き下げられ、若い
方々にも関心を持っていただけるよう
にしなければなりません。議会の情報
公開や説明責任を果たし、議員の資質
の向上を図りながら、町民の皆様の負
託に応える議会運営を目指してまいり
ますので、今後ともご理解とご協力を
お願いいたします。

また、議会内に議会活性化特別委員
会を設置し、定数・報酬・議会活性化

策などを研究・検討しているところで
あります。町民の皆様のご意見をお聞
かせいただければありがたいと存じま
す。

白鷹町も人口減少・少子高齢社会が
到来する中で、第5次総合計画や総合
戦略に沿って、「日本の紅（あか）を
つくる町」、「シラタカ・レッド」の取
り組みなどを中心に各種施策が展開さ
れております。また、新荒砥橋やまち
づくり複合施設などの大きな施設整備
も着実に進んでおり、完成が待たれる
ところでもあります。

議会といたしましても、定例会等の
審議のみならず、政策提言等を行いな
がら、より良いまちづくりを進めてま
いりたいと思えます。町民の皆様によ
り一層のご支援、ご協力を賜りますよ
うお願いいたします。

結びに、新しい年が活力にあふれ、
町民の皆様が笑顔で暮らせる素晴らし
い年になりますよう心より祈念申し上
げまして、新年のごあいさつといたし
ます。





「Cairns State High School」(ケアンズ州立高校)の学生たちと

—特集—

「目を世界に、心ふるさと」

平成 28 年度白鷹町青少年国際交流事業
in オーストラリア

2016.11.7 (Mon) —11.12 (Sat)



今年で2回目を迎える白鷹町青少年国際交流事業。

次代を担う子どもたちのグローバルな視野と自信の醸成、そして、白鷹町と世界を比較することで、町の良さを知り、郷土への誇りと愛着を育ててほしいと実施しているものです。

今回の特集では、研修に参加した白鷹中学校と荒砥高校の生徒たちのレポートを中心に紹介し、白鷹町から世界に目を向けることの必要性に改めて注目します。



写真：④白鷹町を英語で紹介するという課題 ⑤国際交流員のキヤサリン・スウイナーさんを迎えるの研修 ⑥出発1週間前。研修生同士で英語のみを使ってコミュニケーションをとる練習

事前研修会の内容	第1回	研修生・引率者・事務局顔合わせ、スケジュール等の確認など
	第2回	国際交流員を講師に日常的な英会話の練習など
	第3回	白鷹町を英語で紹介してみよう、現地研修の最終確認など



1_先住民族のアボリジニとのダンス体験 2_オーストラリアでは、朝食はシリアルなどで軽く済ませる家庭が多い 3_ホストファミリーと緊張の初対面 4_世界遺産グレートバリアリーフ（世界最大のサンゴ礁地帯）を見学 5_お世話になったケアンズ州立高校の先生と握手でお別れ 6_研修4日目の自由研修では、街中の人と気軽にコミュニケーションをとれるまでに 7_標識などはもちろん英語表記 8_色とりどりの果物などが並んでいた朝市 9_オーストラリアの街中にも出没するというカンガルーとの1枚

11月7日午前9時——白鷹中学校3年生8人と荒砥高校2年生4人が、白鷹町から約6千キロ離れたオーストラリア北東岸の都市「ケアンズ」へと出発しました。

異文化への挑戦を後押し

白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「白鷹人」目を世界に、心ふるさと「プロジェクト」。その一環として昨年度から実施しているのが「青少年国際交流事業」です。

今年度は、研修生の人数を8人から12人に増員。中学生は応募者17人から作文と面接の結果選考された8人が、高校生は学校推薦の4人が参加しました。

さらに、前回の研修生からの要望に応え、ホームステイの日程を1泊から2泊に延長し、研修生一人ひとりが自分で考え、積極的に異文化交流に挑戦できる時間を増やしました。

違いを見つけ、良さを知る

研修生たちは、9月から3回にわたる事前研修会を経て、11月7日〜12日の日程で渡豪。研修に参加した全員が初めて訪れるというオーストラリアは、白鷹町との時差こそ1時間程度で

すが、季節は真逆。そして、周りで飛び交う言語はもちろん英語と、現地に入っただけに日本とのさまざまな違いを肌で感じます。

そして、現地の学校の生徒やホストファミリーとの対面・交流、世界遺産の見学や、先住民族との異文化体験などを通して、自然や食、人、文化の違いを見つけ、それと比べながら白鷹町の良さを再発見していきま

気づきや発見が成長へ

オーストラリアから帰国した研修生たちは、翌々に佐藤町長を訪問し、一人ひとりが研修で発見したことや感じたことなどを報告。その後、現地で学んできたことを事後研修会で見つめ直し、白鷹中学校では12月16日、荒砥高校では12月22日に事業報告会を行いました。

同じ学校の生徒、先生、町の教育関係者を前に、それぞれが学び、感じたことなどを英語やクイズを交えて堂々と発表した研修生たち。白鷹町から世界に目を向け、緊張と不安という殻を破り、文化の違いという壁を乗り越えた12人の、一回り成長した姿がそこにありました。

研修日程

日付	スケジュール
11/7	白鷹町発・成田空港～
11/8	ケアンズ着／自然・民族・野生動物について研修／各ホームステイ先へ（ホームステイ1泊目）
11/9	現地の学校訪問／各ホームステイ先へ（ホームステイ2泊目）
11/10	グリーン島エコシステム見学／ケアンズ市内自由研修／感想・成果発表会
11/11	現地産直市場見学／ケアンズ発～成田空港
11/12	白鷹町着



Ayuka Haga
芳賀彩優花さん
(白鷹中3年)

英語ばかりで戸惑いもありましたが、カタコトの英語でもジェスチャーを交えながら伝えようとするればちゃんと伝わるのがわかったし、逆に相手に伝えようという気持ちがなければ絶対に伝わらないことを身を持って感じました。

私は今回の研修を通して、自分の中の世界が変わったと感じています。オーストラリアの良さ、日本の良さ、そして白鷹町の良さ。この研修で感じたことを町の皆さんに発信し、これから白鷹町がもっと発展していけるように貢献していきたいです。



Kazuki Otake
大武 和生さん
(白鷹中3年)

海外生活を体験することで日本や白鷹町の良さを再発見し、それを「白鷹創生」に生かしたいと思い、研修に参加しました。

自分からコミュニケーションをとることを目標にしたホームステイでは、会話が途切れることがよくあり、あらためて自分の英語力の低さを実感しました。それでも、次第に英語を聞き取れるようになったのがとてもうれしく、自分自身を大きく変えてくれたと思います。今回の研修を人生の転機にし、将来、海外で活躍できる人材になっていきたいです。



Ryota Hashimoto
橋本 凌太さん
(白鷹中3年)

初めてのホームステイは緊張しましたが、ホストファミリーがとても優しく接してくれて、すぐに打ち解けることができました。そして、共通の趣味であるバスケットボールを一緒にしたことがとても楽しく、言葉の壁を越えて心が通じ合えたような気がしました。

今回の研修では、コミュニケーションのほかにも、協力することの大切さを学びました。何をしても、一人でできることには限界があります。お互いに支え合って乗り越えていくことが大切だと学びました。

わたしを変えた、異文化での時間。



Komi Furuna
古名 幸未さん
(白鷹中3年)

ホームステイ初日は、ホストファミリーが会話を盛り上げてくれたのですが、自分から話を切り出すことができませんでした。そこで二日目は「自分から話していこう」と心がけたら、会話がとても楽しくなりました。

私はこの研修を通して、コミュニケーションの大切さをあらためて考えさせられました。また、自分自身のコミュニケーション能力も高くなったと感じています。今回の研修で養った力や気持ちを大切にし、今後の自分の将来につなげていきたいです。



Rio Suzuki
鈴木 涼己さん
(白鷹中3年)

学校訪問では、山形出身のユキノ・ハラグチがバディとして私にたくさんのことを教えてくれました。少しコミュニケーションがうまくいかないときもありましたが、伝えたいことを紙に書いてみるなどの工夫をして、会話を楽しむことができました。

異文化交流をすることで、日本、そして白鷹の良さを五感で学ぶことができる充実した研修になりました。今回経験した多くのことを自分の中に息づかせ、エネルギーにして、もっともっと成長していきたいです。



Hideki Akama
赤間 英生さん
(白鷹中3年)

実際に現地に行かなければわからないことがたくさんあり、「目を世界に、心ふるさと」を大切にしていかなければならないと身をもって感じるようになりました。

また、現地で日本語を話せる人と会ったときは安心しました。それと同様に、外国人が観光に来て、そこに英語を話せる人がいれば安心して楽しむことができるはずです。そして今後、町内に英語を話せる人が増えれば、外国人向けのツアーなども組むことができ、白鷹町の発展に大きくつながっていくと思いました。



Ryuichi Kumagai
熊谷 竜一さん
(荒砥高2年)

研修を通して、モノの見方が変わったと思います。具体的には、一つの事柄について、より多面から考えることができるようになりました。

今回の研修で、自分の伝えたいことを100%言葉にして伝えることができたかと言われると、それはできませんでした。僕が目指すのは、自分の言いたいことを100%伝えることができるくらいの英会話能力です。今回知った自分の実力をしっかりと認め、これからも英語の勉強に力を入れていきたいと思っています。



Haruna Takahashi
高橋 春奈さん
(荒砥高2年)

以前から海外に行ってみたくてという思いを持っていたので、今回の話をお聞きし、「これはチャンスだ」と思い研修に参加しました。

英語は苦手でしたが、事前研修はもちろん、テレビで英語講座の番組を見たりするなど、自分なりに準備をして研修に臨みました。実際には、現地の人たちの話すスピードの速さや単語の難しさで、会話をあまり理解することはできませんでしたが、日本のお土産を渡すととても喜んでくれました。今回の研修で経験したことを意識しながら生活していきたいです。



Sayo Kobayashi
小林 咲葉さん
(白鷹中3年)

はじめはとても不安だったホームステイも、自分の知っている英単語などを駆使して、なんとか自分の意思を相手に伝えることができました。日本のことや白鷹町のこと、紅花やフラワー長井線、桜のことなどを教えることができました。

自分が頭の中で考えていることは、口に出して伝えようとしないと相手には伝わらない、自分の思いを伝えることはとても大切なことだと思いました。これからは自分の考えを積極的に声に出すということを心がけていきたいです。

緊張、不安、期待、驚き、感動、学び、気づき——



Kanato Hasumi
羽角 奏音さん
(荒砥高2年)

今回の研修を通して大切だと思ったことは「積極性」です。恥ずかしがっていたら話ができない、進まないで、限られた時間の中でたくさんのものを得るためには、自分から行動を起こさなければならぬことを学びました。

また、英会話は難しかったです。もっと英語の勉強をがんばろうと思うきっかけとなりました。自分の力を試すことができ、できることとできないことがわかった研修——。これからは新しいことに積極的に挑戦し、さまざまな力を身につけていきたいです。



Kai Ebina
海老名 快さん
(荒砥高2年)

今まで日本から出たことはなく、ほかの国の環境や気候など、全くわからないものでした。しかし、研修の中でさまざまな衝撃を受けたことで、自分の世界観が大きく変わりました。

また、現地で体験したことを自分の国や町と比較することで、たくさんのことを学び、大きく成長できました。海外の同世代の人たちと情報交換できたことも、自分たちの将来に大きく影響してくると思います。この経験を今後の生活に生かして、将来の夢、白鷹町の向上につなげていきたいです。



Mei Marukawa
丸川 芽依さん
(白鷹中3年)

外国の人と話したり、仲良くなるには、言葉の壁を無視して“ふっきれる”ことが大切だと学びました。そして、研修で学んだことを忘れないようにするために、いろいろな人に繰り返し伝えていかなければならないとも思いました。

また、白鷹町とオーストラリアは、雰囲気やにおいなどは何もかもがちがいましたが、人の心の温かさは一緒でした。これからは、町の温かい人材を守りながら、町の抱えている課題に対して何ができるのかをしっかりと考えていかなければならないと思いました。

次代を担う研修生たちへ。ちようせんしゃ

海を渡る前、緊張と不安の入りまじった表情をしていた研修生たちの表情は、それぞれの学校での事業報告会のときには、自信に満ちあふれたものに変わっていました。そんな彼らの成長を受け止めた両校の校長先生に、研修を終えた生徒たちについてお話を伺いました。



百聞は一見に如かず

町立白鷹中学校
小林宏一郎 校長

町青少年国際交流事業により、本校の3年生8名が豪州・ケアンズに派遣されました。8名にとっては初の海外渡航であり、江戸末期から明治初頭にかけて欧米に渡った海外使節団と同

じような思いを持って参加したに違いありません。「日本（白鷹）の発展に寄与するため、直に触れる海外の文化から多くのことを学んできた」と。

今、全国的にグローバルな人材の育成が求められています。2泊のホームステイや自主研修などでの身ぶり手ぶりを交えた英会話の経験により、コミュニケーションの大切さや文化の違いはもちろん、日本を離れて初めて知る白鷹の良さや温かさ、白鷹に取り入れた考え方などをも実感できたことを報告してくれました。まさに『百聞は一見に如かず』です。英語を交えて報告する8名は、実に堂々としていました。



白鷹町と世界の架け橋に

県立荒砥高等学校
星 和彦 校長

本校の生徒4名が、町青少年国際交流事業に参加させていただいたことに、深く感謝しています。白鷹町を訪れる観光客が増え、同じ職場の中で諸外国の人々とともに働くこと

が予想される今日では、外国語が理解できるだけでなく、その国の文化や風習をも理解していなければならなくなっています。今回の研修に参加した生徒は、オーストラリアでのホームステイなどを通して、日本とは異なる文化などに数多く触れ、その大切さの一步を学んできたことだと思います。

この事業に参加した生徒には、校内のリーダーとしての役割のほか、外国人観光客へのご案内など、白鷹町を訪れる外国の方々に積極的に係わって欲しいと思います。そして将来は、白鷹町と諸外国との架け橋となる人材に育ってくださることを期待しています。

「町民向け報告会を開催します」

白鷹町青少年国際交流事業に参加した中学生・高校生による、町民向けの報告会を下記のとおり開催します。ぜひお越しください。

- 日 程 3月25日(土) ※開演時間未定
- 会 場 白鷹町産業センター(パワーセンター白鷹)大ホール
- 入場料 無料

※今年度も、地域おこし協力隊との合同報告会になります。詳しくは「広報しらたか3月13日号」でお知らせします。

【問い合わせ】企画政策課企画調整係 ☎85-6123



昨年度の参加者による報告会の様子

いつまでも、 きみの心に 白鷹を—— ふるさと



山よ ああ 山よ
空へと 羽ばたく 白い鷹よ
なせばなる 鷹山公の 山よ
われら飛び立つ
目を 世界に 心 ふるさと
夢を抱いて つらぬけ
星は かならず またたくよ

白鷹中学校校歌「友よ」2番

グローバルな視野を持つということ
は、単に広く世界を見るということでは
ありません。では一体どういうこと
か。それは、どんなことにも自分から
積極的に挑戦し、一点に孤立している
視点を広げていくということ——。
12人の研修生たちは、言葉や思いがう
まく伝わらない環境の中、異文化へと
果敢に挑戦することで、きつとそのこ
とに気づいたことでしょう。

そして次に彼らに求められること
は、研修で得たモノ、感じたコトを、
ほかの生徒たちにもしっかりと伝えて
いくこと。なぜ世界に目を向けるのか
を皆が理解したときに初めて、この研
修の目的が果たされていくのです。

また、町には、将来は町外で活躍し
ていきたいと考えている子どもも少な
くはないでしょう。しかし、たとえ町
を離れたとしても、心に白鷹（ふるさと）
を感じていれば、その活躍が町の
活力につながり、「目を世界に、心ふ
るさと」の意志はつながっていきます。
そのためにも、次代を担う子どもた
ちには、いつまでも白鷹町（ふるさと）
を思う気持ちを忘れずに、これから先
も広い世界を見ていつてほしいと思
います。



気になって、好きになって！

しらたか掲示板OPEN

クリック！

山形県白鷹町

検索

または

<http://www.town.shirataka.lg.jp/>

町はこのたび、現在のホームページのトップページの前に、戦略的にメニューごと情報発信するためのページを設置しました。

これは、町内外のたくさんの方に、白鷹町をもっと知ってもらい、好きになってほしいという思いから作業を進めてきたもので、町観光交流大使の青木実さんにデザインを依頼、7つのコンテンツからなる「しらたか掲示板」が完成しました。

気になる町の新しい入口の運用開始に合わせて、各コンテンツの内容を紹介します。

なお、これらのコンテンツは、旬の話題ごとに進化していきますので、ご期待ください。



白鷹町
ホームページ



くらしの情報や各種申請の手続きなどを掲載しています



白鷹町ふるさと移住
推進協議会ホームページ



町の空き家情報や、助成・支援の内容について掲載しています



白鷹町観光協会
ホームページ



町の観光・イベント情報、旬の話題などを掲載しています



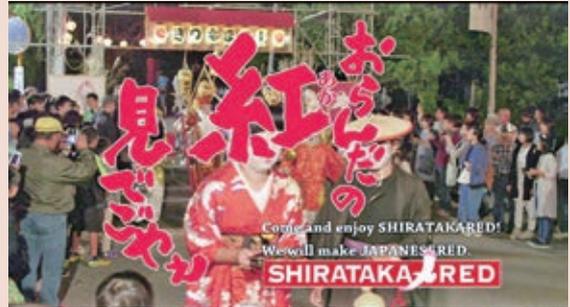
紅花生産・日本一 日本の紅（あか）をつくる町

紅花関連の情報等を掲載します。

- ・ロゴの使用申請
- ・紅花生産量等の情報
- ・ダウンロードフリーの画像 など



山形ふるさとCM大賞 (白鷹町歴代作品)



今年度の山形ふるさとCM大賞の作品「おらんだの 紅(あか)見でござえ ～にぎやか あざやか シラタカ・レッド～」をはじめ、町の歴代CM作品がご覧いただけます。



←QRコードにスマートフォンをかざすと、第17回山形ふるさとCM大賞の白鷹町の作品がご覧いただけます。



歌おう! 踊ろう! シラタカ・レッド



「おどる! シラタカ・レッド」の歌やダンスの動画を視聴いただけます。



←QRコードにスマートフォンをかざすと「おどる! シラタカ・レッド」の歌 (full ver.) を視聴いただけます。



白鷹の食材・郷土食 (家めし・家呑み)

地域に伝わる伝統的な郷土食や、町の食材を利用した新しい食べ方、家庭のできるメニュー(家めし・家呑み)の提案などを掲載していきます。



トマトのすき焼き

新メニューとして「トマトのすき焼き」を町観光交流大使の上原恭子さんにご紹介いただきました。



町観光交流大使
上原 恭子さん

トマトのすき焼きが、わが家の定番メニューになったのは5年くらい前。トマトを使うことで、牛肉のイノシン酸とトマトのグルタミン酸のうま味の相乗効果でおいしさがアップ。トマトの酸味が甘辛い味なのに、いくらでも食べられる味わいになります。トマトのサイズはお好みですが、煮過ぎずに牛肉と一緒に食べるのがおいしいです。



教えていただいた人
上原 恭子さん (白鷹町)



旬の「うまい」を
菜発見
さいほっけん

地産おこし協力隊が育った、しらたかの和の「うまい」をご紹介。地域の食材でできることのできる味を、賢くおいしく楽しんでほしい。

コゴミのゴマ和え

材料 (5人分)

コゴミ 1両(100g) 鶏ささぎ 1両(100g)
すりおろしゴマ 大さじ2
醤油 大さじ1
砂糖 大さじ1
塩 少々
酒 少々

作り方

- ① 鶏ささぎは皮を剥き、塩、コゴミをまぶす。
- ② 1分程度茹でたら冷水に浸し、軽くよからすようにしてこみを削ぐ。鶏皮を剥き、細切りにしてコゴミをまぶす。(3割ほど戻り浸してこみを削ぎ取る)
- ③ すりおろしゴマ、醤油、砂糖、鶏皮を混ぜ合わせる。
- ④ 茹でたささぎ、コゴミを混ぜ、酒、砂糖を加える。
- ⑤ 水気を切ったささぎを混ぜる。

旬の「うまい」を菜発見

今回は、上原 恭子さん

毎号の「広報しらたか」最終ページに掲載の、地域おこし協力隊取材による「旬の「うまい」を菜発見」をまとめて掲載します

スポーツを通して町に活気を 平成28年度白鷹町体育協会表彰

12月3日、パレス松風において白鷹町体育協会表彰式が行われ、町のスポーツ振興に貢献された方と、平成28年度に輝かしい功績を残された下記の15人が表彰されました。

また、式に続いて西置賜地区スポーツ振興懇談会（兼）白鷹町スポーツ振興懇談会（兼）白鷹町スポーツ少年団指導者・母集団研修会が行われ、東京都アスレティックトレーナー連絡協議会の石山修盟会長が「小・中学生の時期におけるコンディショニング」と題して講演。スポーツに励む子どもたちの心と体を整え、成長させていくために必要なことなどを提言しました。



1_ 鈴木雅明町体育協会会長から、賞状とメダルを授与された受賞者の皆さん 2_ 競技指導者などを前に講演する石山さん

■表彰者一覧

【功労賞】

木村 秋子さん（町グラウンドゴルフ協会）

氏名(学校名または所属・学年)	競技名	大会名等
-----------------	-----	------

【殊勲賞】

板垣 翔斐さん(南陽高2年)	ソフトボール	第11回東北高等学校男子ソフトボール選抜大会 優勝 平成28年度全国高等学校総合体育大会 出場
橋本 凌央さん(南陽高1年)	ソフトボール	第11回東北高等学校男子ソフトボール選抜大会 優勝
今 躍作さん(南陽高1年)	ソフトボール	第11回東北高等学校男子ソフトボール選抜大会 優勝
長谷部陽香さん(日体大1年)	ソフトボール	第43回東北総合体育大会ソフトボール競技(成年女子)優勝/いわて国体 出場
菅 守継さん(国際武道大1年)	ソフトボール	第43回東北総合体育大会ソフトボール競技(成年男子)優勝/いわて国体 出場
高橋 尚貴さん(関東学園大3年)	ソフトボール	第43回東北総合体育大会ソフトボール競技(成年男子)優勝/いわて国体 出場
児玉 聡太さん(日体大4年)	ソフトボール	第43回東北総合体育大会ソフトボール競技(成年男子)優勝/いわて国体 出場
中村 真さん(置賜総合支庁)	ソフトボール	第43回東北総合体育大会ソフトボール競技(成年男子)優勝/いわて国体 出場
中川 愛未さん(蚕桑小6年)	陸上競技	第24回山形県少年少女スポーツ交流大会 小学生女子走高跳 第1位
安達 桂子さん(九里AC)	陸上競技	第69回山形県陸上競技選手権大会 女子5000m競歩 優勝 第43回東北総合体育大会 女子5000m競歩 第2位
西村 一輝さん(開志国際高3年)	バスケットボール	第69回新潟県高等学校総合体育大会 優勝 第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会 ベスト8

【栄光賞】

上村 葉凧さん(白鷹中1年)	陸上競技	第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会 出場 C区分(中学1年)女子 走幅跳
横澤 史鷹さん(南陽高3年)	ソフトボール	平成28年度全国高等学校総合体育大会 出場
佐藤 功基さん(南陽高3年)	ソフトボール	平成28年度全国高等学校総合体育大会 出場



カラオケで盛り上がる参加者の皆さん

多国籍の輪が広がる
クリスマスパーティー

町国際交流協会（竹田寛治会長）が主催するクリスマスパーティーが12月25日、パレス松風で開催されました。

この日は、フィリピン、中国、タイ、ベトナムの出身者と国際交流協会の会員、町関係者など約40人が参加。「メリークリスマス」のかけ声で乾杯し、「ビンゴゲームやカラオケ、フィリピン伝統のリズムカルなダンスなどで盛り上がりました。そして、クリスマスということでも、参加者がそれぞれに持ち寄ったプレゼントの交換も行われ、フィリピン出身のジョセフィン渋谷さん（鮎貝）は「今日はいろんな国の人たちと交流できて楽しかった。参加してよかった」と、ほかの参加者と親睦を深めながら笑顔を見せました。

目指せ！南東北インターハイ 平成28年度ソフトボール技術講習会

来年度に白鷹町、長井市、南陽市を会場に開催される全国高校総体ソフトボール競技に向けた技術講習会が、昨年度に引き続き実施されました。

今年度は、7月と11月に守備やバッティングなどの実践的な講習、12月に体のコンディショニングを整える体感トレーニング講習が行われ、町出身の選手が所属する米沢中央高校、長井高校、南陽高校及び白鷹中学校から合わせて約50人が参加しました。体感トレーニング講習では、プロスポーツ選手の指導にも携わっている、体幹トレーニングコーチの本橋恵美さんが厳しくていねいに指導。慣れないトレーニングに苦戦する参加者でしたが、本橋さんが「途中で絶対にあきらめない」「地味なトレーニングが結果を生む」などと声をかけると、集中を取り戻して約1時間半しっかりと汗を流しました。



1_ 東根地区コミュニティセンターで行われた体幹トレーニング講習の様子 2_ 7月の講習会では、県ソフトボール協会理事長の鈴木正廣さんと、ソフトボールのクラブチーム「YAMAGATA CLUB」のメンバーがバッティングなどを指導した

第66回山形県統計グラフコンクール 蚕桑小学校が優秀な成績を収める

山形県統計協会と山形県の主催による、第66回山形県統計グラフコンクールにおいて、蚕桑小学校3年の樋口巧くん、古名梓穂さん、藁品遼佑くんの作品「蚕ってすごい」が審査員特別賞に選ばれました。

表彰式は12月1日、山形テルサを会場に開催された第43回山形県統計大会の席上で行われ、東北芸術工科大学教授の大竹左紀斗審査員長から「実際に（蚕を）

飼ってみたいとわからないことが上手く表現されていてすばらしい」と講評を受けました。

なお、このほかにも蚕桑小学校児童の作品は、3点が入選、1点为佳作に選ばれ、蚕桑小学校が優秀学校賞を受賞しました。

また、同席上において、永年にわたり統計調査員としてご尽力された4人の方が表彰されました。

おめでとうございます。



1_ 表彰式において、大竹審査員長から賞状とメダルを授与された藁品くん（左）、古名さん（中）、樋口くん（右） 2_ 審査員特別賞に選ばれた作品「蚕ってすごい」。3人が、実際に蚕を飼育した児童たちに聞いた内容を上手にグラフ化している

■第66回山形県統計グラフコンクール結果

【審査員特別賞】「蚕ってすごい」蚕桑小学校3年 樋口 巧くん、古名梓穂さん、藁品遼佑くん【入選】「学校のじまん」蚕桑小学校4年 大山瑛太くん、高橋真由さん、槌谷 楓さん、湯澤一徳くん／「18歳になったら参議院議員選挙」蚕桑小学校6年 金田七海さん、中川愛莉さん、中川愛未さん／「かいこ大好き」蚕桑小学校5年 土屋 湊くん、菅 悠悟くん【佳作】「運動会について」蚕桑小学校3年 榎本千桜さん、金田健汰くん、中川久綱くん【優秀学校賞】白鷹町立蚕桑小学校

■第43回山形県統計大会表彰者

【山形県統計協会会長表彰】細矢雄一さん、大木光男さん【山形県統計協会会長 感謝状(多年従事調査員)】梅津トシ子さん【山形県統計協会会長 感謝状(退職調査員)】工藤英治さん

町民の皆さんの身近な相談相手として 「民生委員・児童委員」が新たに委嘱されました

民生委員・児童委員が任期満了により改選され、12月1日より新たに厚生労働大臣から委嘱されました。

任期は3年間で、町民の皆さんの福祉向上のために活動します。身分は、非常勤の特別職の地方公務員となっております。

各地区の民生委員・児童委員は、下記の方々です。

相談内容に関する秘密は固く守りますので、お気軽にご相談ください。

民生委員・児童委員とは

「民生委員」は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助や支援を行います。社会福祉の増進に努めます。

「児童委員」は、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談や支援を行うもので、民生委員が児童委員を兼ねることになっています。また、子どもや子育てに関する支援を専門に担当

する「主任児童委員」が配置されています。

仕事の内容は

地域の方が安心安全に暮らせるよう、自らも地域住民の一員として、生活上の課題を抱え支援が必要な人の身近な相談相手となり、助言及び見守り支援や、福祉サービス等の情報の提供を行い、行政等の関係機関による支援へのつなぎ役となります。このために、担当区域内の高齢者などの生活状態を把握し、地域の関係機関と連携し、その業務に協力しています。

無報酬の活動

民生委員・児童委員には給与・報酬はいっさい支給されず、ボランティアとして活動します。交通費や通信費などの活動費だけが支給されます。

秘密保持と研さん

民生委員・児童委員は、



1_ 民生委員・児童委員の54人に佐藤町長から委嘱状が手渡された
2_ 公園内遊具の安全点検の様子



活動を行うにあたって、個人の人格を尊重し、その秘密を守ります。差別的、優先的な取り扱いもしてはいけません。また、地域住民が抱える問題は多様化し、その内容も複雑になってきているため、毎月、支援方法についての研修を行っています。

【問い合わせ】

健康福祉課福祉係
☎ 86-0111

町民生委員児童委員協議会事務局（町社会福祉協議会内）
☎ 86-0150

白鷹町民生委員児童委員協議会

【会長】小松 行信さん
【副会長】小関 陽一さん

各地区の民生委員・児童委員

担当町内（組）及び担当者名（敬称略）

■蚕桑地区	
蚕桑1・2	長澤千恵子
蚕桑3・4	佐藤由美子
蚕桑5・6(1・2)	佐藤真知子
蚕桑6(3・4)・7	金田 祐子
蚕桑8・9	小林 節子
蚕桑10・11	小林 宣好
蚕桑12・13(1・2・3・4)	福嶋 亮一
蚕桑13(5・6・7・8)・14	町田 幸子
蚕桑15・16	菅 昭
蚕桑17・18	岡部 仁
蚕桑19・20	高木志津子
■鮎貝地区	
鮎貝1・2	菅 秋子
鮎貝3・5・6	新野 敏明
鮎貝7・8・14	小林 敏明
鮎貝4・9	和田 妙子

鮎貝10・12	菊地 豊宗
鮎貝11・黒鴨	山口美智子
鮎貝13	迎田 留蔵
高岡1・2	大滝 朋子
深山1・2	羽田 只子
■荒砥地区	
八幡1・2	相田 正子
新町	新野 光夫
上町・出来町1	小松 行信
出来町2	飯澤 達男
横町1・2	小松 史子
仲町1・2	尾西 幸子
仲町3	小関 英子
仲町4	竹田喜久子
貝生1・2(1・2・5)	菅原 保明
貝生2(3・4)・3・東部4	佐竹 正子
菖蒲1・2	今野 和子
下山	安部富美子
佐野原・大瀬	竹田美佐子
■十王地区	
十王1・2	平 由紀子
十王3・4・5・9	小林香代子

十王6・7・8	守谷 文子
十王10	土屋 重子
■鷹山地区	
下折居・上折居	齋藤 良子
西原・東小手沢・細野	竹田 敏恵
山道・南	海老名みつ
西・新屋敷1・2	小関 陽一
中田・原・上原	沼澤 富雄
堀之内・北原・針生	鈴木 成子
■東根地区	
南部1・2・3	菊地 幸子
南部4・5	鈴木 みち
中部2・3	新野 吉信
中部1・6	鈴木 裕一
中部4・5	吉田 武藏
北部1・2	菅間 道雄
北部3・4	新野八重子
東部1・2・3	中嶋千代松
主任児童委員	
主任児童委員	安久津久子
主任児童委員	岡田美和子
主任児童委員	丹野 ちゑ

梅津五郎芸術賞 第2回全国絵画公募展

町出身の洋画家・梅津五郎さんの画業を顕彰することを目的に、梅津五郎芸術賞公募展実行委員会（橋本満弘委員長）が主催する梅津五郎芸術賞第2回全国絵画公募展が、あゆむにおいて12月6日～25日の日程で開催されました。

今回の応募総数は、一般の部（高校生以上）65点、中学校の部68点、小学生の部279点。審査は、日展会員で東光会副理事長の松田茂さん、山形大学教授で画家の小林俊介さんによって行われ、入賞・入選に選ばれた計108点が展示されました。

また、表彰式は12月11日にあゆむで行われ、受賞者を代表し、一般の部で最優秀賞に選ばれた榊原マズさんが「自分の絵を出品できて、賞をいただけて幸せ。これからも絵を書き続けていきたい」と喜びを語りました。



一般の部で最優秀賞に選ばれた榊原さんの作品「漂着の行方(カイダコ)」

■一般の部

氏名	市町村名
【最優秀賞】	
榊原 マス	東京都新宿区
【優秀賞】	
藤田 壽夫	山形県山形市
【白鷹町長賞】	
小野 ひで	千葉県八千代市
【佳作】	
清水 泰	東京都練馬区
喜嶋 定雄	山形県東根市
長谷川田鶴子	東京都世田谷区
上村 隆士	山形県新庄市
和田 三夫	宮城県仙台市青葉区
【入選】	
榊本 宮子	埼玉県朝霞市
寺沢 勝義	山形県山形市
上浦 常雄	山形県山形市
渡辺 純一	福島県郡山市
眞貝 櫻子	奈良県橿原市
中谷 孝史	山口県熊毛郡平生町
永井 祥浩	埼玉県鴻巣市
庄司 勲	茨城県土浦市
加藤 良子	東京都練馬区
保科 弘治	山形県寒河江市
長田 萌	宮城県刈田郡蔵王町
佐藤 文夫	千葉県野田市
鹿野 敏弘	群馬県高崎市
芳賀 則政	山形県白鷹町
堀越 昭彦	山形県南陽市
土屋 和彦	山形県長井市
横澤 恭兵	山形県南陽市
中村 和子	神奈川県茅ヶ崎市
秦野 邦男	岡山県苫田郡鏡野町
木村 光輝	山形県上山市
布施 邦芳	山形県朝日町
阿部沙也香	東京都東久留米市
齋藤 晃慶	岐阜県岐阜市
寺園 俊子	神奈川県座間市
熊谷 琴音	山形県山形市
高野 由美	東京都葛飾区
伊藤 雄基	東京都荒川区
長谷川 茜	山形県米沢市

松本 菜花	山形県山形市
渡辺 麻希	埼玉県さいたま市
三浦 真穂	山形県山形市
市村 妙子	茨城県つくば市
前田 尚子	東京都練馬区
石井佳代子	愛知県一宮市木曾川町

■中学生の部

氏名	学校名
【最優秀賞】	
伊藤 凜	山形大学附属中
【優秀賞】	
丸川 颯河	白鷹町立白鷹中
森谷 雛	尾花沢市立尾花沢中
【入選】	
梅津 諒	飯豊町立飯豊中
伊藤 千紘	飯豊町立飯豊中
丸川 和紗	白鷹町立白鷹中
鈴木 菜花	白鷹町立白鷹中
鈴木 皓太	白鷹町立白鷹中
穂積 空	白鷹町立白鷹中
岩崎 康雅	白鷹町立白鷹中
紺野莉咲子	白鷹町立白鷹中
竹田 優香	白鷹町立白鷹中
中川みさき	白鷹町立白鷹中
小林 里穂	白鷹町立白鷹中
山口 泰知	白鷹町立白鷹中
川田 菜奈	白鷹町立白鷹中
山本 和	白鷹町立白鷹中
大滝 志那	庄内町立余目中
五十嵐 愛	真室川町立真室川中
伊東 千晴	山形大学附属中
児玉ミサキ	山形大学附属中
柏原 音々	山形大学附属中
佐藤 飛龍	山形大学附属中
岸 涼夏	山形大学附属中
柏原 文香	山形大学附属中
阿部 汐里	山形大学附属中
早坂 美羽	尾花沢市立尾花沢中
田中 亜実	尾花沢市立尾花沢中
佐藤 萌絵	尾花沢市立尾花沢中
大乗 文明	尾花沢市立尾花沢中

■小学生の部

氏名	学校名
【最優秀賞】	
齋藤 龍太	白鷹町立鮎貝小
【優秀賞】	
金田 煌牙	白鷹町立蚕桑小
鈴木 晃平	寒河江市立白岩小
【入選】	
阿部 妃菜	寒河江市立白岩小
佐藤 優衣	白鷹町立東根小
紺野 巧夢	白鷹町立東根小
衣袋 元基	白鷹町立東根小
小形 真緒	白鷹町立東根小
後藤 叶友	白鷹町立荒砥小
荒川 獅恩	白鷹町立荒砥小
安部 心陽	白鷹町立荒砥小
工藤 華蓮	白鷹町立荒砥小
横山 美月	白鷹町立荒砥小
石井 勝斗	白鷹町立荒砥小
松田 青輝	白鷹町立荒砥小
鈴木 健祐	白鷹町立荒砥小
黒澤 叶	白鷹町立鮎貝小
丸川 快斗	白鷹町立鮎貝小
加藤 昂平	白鷹町立鮎貝小
熊坂 円	白鷹町立鮎貝小
黒澤 瀬奈	白鷹町立鮎貝小
遠藤 美月	白鷹町立蚕桑小
菅 道成	白鷹町立蚕桑小
榎本 千桜	白鷹町立蚕桑小
大久保瑚花	白鷹町立蚕桑小
今野 由菜	白鷹町立蚕桑小
原田 直緒	尾花沢市立宮沢小
高橋 潤	尾花沢市立宮沢小
高橋咲綺音	飯豊町立第二小
山口 偉成	飯豊町立第二小
伊藤 梨夏	飯豊町立第二小
小松 愛琉	アートキッズ団
渡辺 琴音	アートキッズ団

「皆様のご意見をお寄せください。」

ご意見は「広報直通便」または町(町立病院)ホームページに掲載の「意見提出様式」に必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメール等でお寄せください。なお、ご意見を正確に把握するため、電話等によるご意見は受け付けません。

●施策の展開

1. 生涯にわたる学びの推進

■学習機会の設置・自主的学習の支援

【家庭・幼児】

- ・家庭教育推進講座、幼児共育事業
- ・食育推進連携事業
- ・子育て・家庭教育情報の提供
- ・親子の学習機会の設置
- ・外遊びの奨励

【青少年】

- ・子どもたちを地域で育てる体制整備
- ・キャリア教育の充実
- ・青少年団体の育成
- ・青少年育成団体との連携
- ・青少年交流事業の推進
- ・青少年の活躍の促進

【青年】

- ・次代を担う人材の育成
- ・基金活用による自主研修活動支援

【成人】

- ・現代課題に対応する学習の充実
- ・社会教育団体等の活動支援
- ・意欲的な団体の学習支援の検討

【高齢者】

- ・世代間交流の推進
- ・定年退職後の地域参画の促進
- ・老人クラブの活動支援

■生涯学習基盤の整備・充実

- ・図書館・中央公民館の複合施設としての整備及び運営体制の検討
- ・生涯学習拠点施設としての利用しやすい図書館・中央公民館づくり
- ・郷土の歴史を大切に、町の魅力を発信する図書館

2. 生涯スポーツの振興

■スポーツ活動の充実

- ・健康、体力づくりのスポーツ活動の推進
- ・地域におけるスポーツ活動の推進
- ・スポーツ少年団活動の推進
- ・各種スポーツ普及啓発、大会開催
- ・各学校の体育施設の開放

■組織体制の強化と指導者育成

- ・総合型地域スポーツクラブの体制強化と連携強化
- ・指導者の育成と派遣可能な体制整備
- ・体育協会、関係団体の育成
- ・各地区体育振興会活動の推進、地域指導者の育成

■スポーツ施設の整備・充実

- ・白鷹スキー場の整備・充実
- ・蚕桑紬パーク屋内運動場の整備・充実
- ・グラウンド・ゴルフ場の検討
- ・スポーツセンターの整備推進
- ・スポーツ施設の計画的な整備
・改修と維持管理・運営
- ・施設予約システムの検討

3. 芸術文化の振興

■文化力の向上

- ・自主的な芸術文化活動の促進と支援及び文化交流の推進
- ・芸術文化に触れる機会の拡充と普及推進
- ・他市町村の芸術文化団体との連携
- ・白鷹町文化交流センター「あゆむ」を拠点とした芸術文化活動の推進

■文化財等の保護と活用

- ・史跡、文化財等の計画的調査と保護並びに管理
- ・薬師ザクラや釜ノ越サクラなど古典桜の保護
- ・町活性化のための史跡、文化財、古典桜等の地域資源としての活用

■伝統文化の保存と活用

- ・伝統工芸、民俗芸能の保存と後継者育成
- ・地域行事及び食文化の伝承
- ・伝統文化・技術等の地域資源としての活用

■歴史・文化の学習環境の充実

- ・歴史や文化等について学ぶ機会の拡充
- ・歴史、民俗史料の調査整理、歴史民俗史料館の検討
- ・本町に関わりのある功績を残された方の調査、記録

●生涯学習推進体制の整備

■生涯学習推進体制の充実

社会教育委員会議の充実／専門的職員確保のための新たな推進体制の検討／職員研修の充実／指導者の育成／学習意欲の高揚を図る啓発活動の充実／地域の人材を活用した学習活動の推進／生涯学習推進計画の見直し

■関係機関との連携・協働

行政分野が連携・協働した生涯学習の推進／地区コミュニティセンターとの連携・協働／地区コミュニティセンター分館活動の活性化

各種計画(案)のパブリックコメントについて

白鷹町障がい学習振興計画(案): P 16 ~ 17 / 新白鷹町立病院改革プラン(案): P 18

白鷹町生涯学習振興計画(案)

【問い合わせ】教育委員会生涯学習・文化振興係 ☎85-6146

平成23年度に策定した白鷹町生涯学習振興計画(平成24~28年)が最終年度を迎え、新たな計画を策定中です。

これまでの5年間では、学校支援地域本部事業や放課後子どもプランへの取り組みによる子どもたちの健全育成支援体制の整備をはじめ、「ゆめスポしらたかRO*KU」による生涯スポーツの推進、文化交流センター「あゆむ」による芸術文化活動の充実、白鷹町史現代編の編纂と発刊等を行い、一定の成果を上げてきました。

しかし、少子高齢化等をはじめとする社会課題がさらに多様化、複雑化する中で、社会の変化に迅速に対応するためにますます重要になるのが生涯学習であり、社会貢献できる人材の育成が必要となっています。

自ら学び、社会と関わり、より良い社会をつくらうとする意欲的な人材を育て、白鷹町第5次総合計画に掲げる町の将来像「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」の実現を目指し、生涯学習振興計画を策定するものです。

●計画期間

平成29年度から平成33年度までの5年間

●これからの社会教育行政に求められるもの

学んだ成果を地域社会で生かせるよう「絆づくり・地域づくりに向けた体制づくり」を進めることが重要とされ、地域課題の解決に向けた力強いコミュニティを形成するためにも学習意欲の喚起と社会参画への関心が高まるよう工夫しながら、一人ひとりがいきいきと活躍できる仕組みづくりが必要です。

●課題

- ・より多くの人々が学習・スポーツ・文化活動に取り組める環境づくりと意識の醸成
- ・個人のニーズと、社会の要請にこたえる魅力ある事業の企画・充実
- ・指導者の育成と推進体制の整備
- ・専門職員の確保および配置

基本 目標

生涯学習で育みあう 豊かなところ 豊かなふるさと ～未来を拓く白鷹人(しらたかびと)の育成～

豊かな地域社会を維持・発展させるため、他者とのかかわりの中で学び合い、育て合い、絆を深め、豊かなつながりを形成し、誰もが健康で地域で活躍できるよう人材育成と環境整備を図ることを目標とします。

【募集期間】1月12日(木)~1月31日(火)

【意見の提出方法】[Eメール] kyouiku@so.town.shirataka.yamagata.jp / [FAX] 85-2183

[郵送] 〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲833番地 白鷹町教育委員会

※詳細については、教育委員会、中央公民館、各地区コミュニティセンター、町のホームページ等で公開していますのでご覧ください。

「皆様のご意見をお寄せください。」

ご意見は「広報直通便」または町(町立病院)ホームページに掲載の「意見提出様式」に必要事項を記入の上、郵送、FAX、Eメール等でお寄せください。なお、ご意見を正確に把握するため、電話等によるご意見は受け付けません。

新白鷹町立病院改革プラン(案)

【問い合わせ】白鷹町立病院事務局 ☎85-2155

白鷹町立病院では、総務省が示したガイドラインに基づき「新白鷹町立病院改革プラン」について検討してきました。このたび、プラン(案)がまとまりましたので、概要をお知らせします。

■プランの期間

平成29年度から平成33年度までの5年間

■プラン策定の趣旨

公立病院をとりまく環境は、地方の医師不足や施設設備の経年劣化、人口減少と急速な少子高齢化に伴う医療需要の変化などにより、ますます厳しくなることが予想されます。プラン策定は、町民の皆様にとってなくてはならない病院を維持するため、持続可能な病院経営を目的とし策定するものです。

■プランの基本方針

ガイドラインが示す、4つの視点に立って改革を進めます。

①経営効率化

産業収支比率・後発医薬品使用 比率等具体的な数値目標の設定

②再編・ネットワーク化

医療情報連携システムを積極的に活用し置賜2次医療圏内でのさらなる連携強化

③経営形態の見直し

すでに地方公営企業法を全部適用していることから、この形態の維持

④山形県地域医療構想を踏まえた町立病院の役割の明確化

置賜2次医療圏内の基幹病院のみならず、県中心部の基幹病院との連携及び後方支援的役割の強化と、2次救急医療提供体制の堅持



【募集期間】1月12日(木)～1月25日(水)

【意見の提出方法】

【Eメール】byouin@so.town.shirataka.yamagata.jp

【FAX】85-2274

【郵送】〒992-0831 白鷹町大字荒砥甲501番地
白鷹町町立病院事務局

※詳細については、町立病院、各地区コミュニティセンター、町立病院ホームページ等で公開していますのでご覧ください。

白鷹町森林整備計画の見直しを行います

●森林計画制度とは

森林の持つ水源の涵養(かんよう)、山地災害の防止、自然環境の保全、木材などの林産物の供給等の多面的な機能を安定的、持続的に発揮するために、国、都道府県、市町村、森林所有者等が、それぞれの立場・段階で計画的・長期的な視点に立って森林に関する計画を立てる制度です。

なお、計画期間は平成29年度から平成39年度までの10年間(5年ごと見直し)です。

●これまでの経過

町では、県の「置賜地域森林計画」の樹立に伴い、「白鷹町森林整備計画」の見直しに向けて検討を行っています。現在まで森林組合・設計事務所・商工会・建設会社・NPO・財産区等で組織する白鷹町森林・林業再生協議会を平成28年11月16日に開催し、計画について意見集約、検討を重ねてきました。

【問い合わせ】

産業振興課森林整備係
☎85-6125

\\皆様のご意見をお寄せください\\

【募集期間】

2月1日(水)～2月28日(火)

【意見の提出方法】

規定の様式で、下記の方法で提出してください。

【Eメール】

sangyou@so.town.shirataka.yamagata.jp

【FAX】85-2128

【郵送】

〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲833番地

白鷹町役場産業振興課森林整備係

※詳細については、各地区コミュニティセンターや町ホームページ(<http://www.town.shirataka.lg.jp/dd.aspx?menuid=1287>)等で公開していますのでご覧ください。



平成 29 年 4 月
受付スタート分

ふるさと納税返礼品 “大募集”します。

町産品のPR、地域経済活性化のため、ご寄附いただいた方へのお礼の品として贈呈する商品やサービスを募集します。

【要件】

- ① 町内で栽培、製造、加工、販売サービス等がなされている商品等を提供できる、町内に事業所がある法人や個人事業者
 - ② 品質および数量の面において、安定供給が見込めるもの(期間限定・数量限定の取り扱いも可能です)
- ※詳しくは説明会のお知らせします。

【説明会】

- ▼日時 2月1日(水)
午後1時30分～
- ▼会場 中央公民館2階 第1第2研修室
- ※出席される方は1月25日(水)までお電話でお申込みください。なお、都合により参加できない場合は、個別にご説明します。

—— 思いがカタチに ——

白鷹町への“ふるさと納税” ありがとうございます

ふるさと納税制度は、出身地や応援したい自治体に寄附をすると、所得税および住民税から一定の控除が受けられるようになる制度です。

白鷹町では平成20年度からこの制度を導入し、いただいた寄附金は人材育成や文化伝承に役立てられています。

お申込みはインターネット、電話、FAXで受け付けています。

町外にお住まいで、1万円以上ご寄附していただいた方には、お礼の品をお贈りします。

詳しくは下記までお問い合わせください。

●寄附の状況

	寄附金額
平成 24 年度	12,122 千円
平成 25 年度	19,637 千円
平成 26 年度	30,519 千円
平成 27 年度	37,872 千円
平成 28 年度 (12月31日現在)	89,762 千円

●人気の返礼品 (H28.12.31 現在)

	件数
HANABISHI オーダーメイド仕立券	600 件
米沢牛(すき焼き用)	523 件
しらたかのお米(玄米セット)30kg	192 件
朝採り枝豆3人娘	141 件
りんご(ふじ)	140 件



【各種問い合わせ・申し込み】

白鷹町ふるさと応援制度事務局 (企画政策課企画調整係)
☎0238-85-6123 / [FAX] 0238-85-2128

白鷹町ふるさと納税

▼申告が必要な方

●給与収入があり次に該当する方

- ①年末調整を行っていない方
- ②前年中に途中で退職した方
- ③給与以外に所得のある方
- ④2カ所以上から給与のある方

●農業・営業・不動産など事業所得のある方

●配当や保険満期、資産の譲渡などの所得がある方

●年金受給者で社会保険・生命保険料控除を受けようとする方

●収入がなく次に該当する方

- ①国民健康保険に加入している方
- ②所得証明が必要な方
- ③年金などの免除を申請される方

※詳しくは、全戸配布いたします「申告書の手引き」及び「フローチャート」を参照ください。

▼申告に必要なもの

申告される方全員
<input type="checkbox"/> 印鑑
<input type="checkbox"/> 町民税・県民税個人申告書
<input type="checkbox"/> 所得税確定申告書（税務署から送付されている方）
<input type="checkbox"/> 本人確認書類（申告書にマイナンバーを記入した場合）の写し 例）マイナンバーカード（写）、マイナンバー通知カード（写） ＋運転免許証（写）など
所得（収入）に関するもの
<input type="checkbox"/> 源泉徴収票（給与・年金）
<input type="checkbox"/> 収支内訳書及び収入と経費を証明するもの（農業・営業・不動産その他事業所得がある方） 例）出荷証明書や購買明細書等の経費が確認できるもの売上伝票や帳簿等及び経費が確認できるもの
<input type="checkbox"/> 一時所得や保険満期一時金などの証明書
<input type="checkbox"/> 支払明細書、金融機関発行の源泉徴収票（配当のある方）
<input type="checkbox"/> 個人年金、講師料、謝金など各種報酬の支払明細
<input type="checkbox"/> 売買契約書、譲渡費用等がわかる領収書（土地等売却された方）
控除に関するもの
<input type="checkbox"/> 生命（一般・介護医療）保険料支払証明書
<input type="checkbox"/> 個人年金保険料支払証明書
<input type="checkbox"/> 地震保険料支払証明書（平成18年12月31日までに締結した長期損害保険料支払証明書）
<input type="checkbox"/> 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書
<input type="checkbox"/> 国民年金保険料控除証明書、農業者年金掛金の領収書
<input type="checkbox"/> 医療費の領収書、おむつ使用証明書、保険などの補てん額
<input type="checkbox"/> 身体障がい者手帳、療育手帳など
<input type="checkbox"/> 障がい者控除対象者認定書（要介護認定者）
<input type="checkbox"/> 寄付を行った団体の発行する領収書
振替納付や還付に関するもの
<input type="checkbox"/> 通帳、通帳の本人届出印…振替納付
<input type="checkbox"/> 申告者名義の金融機関名・支店・口座番号がわかるもの…還付

農業所得がある方へ（販売がある農家）

収支計算による申告となります。

▶ **持ち物**／収支内訳書（農業所得用）及び収入と経費が確認できるもの

①農協と取引されている方は農協が発行する各種明細書

②営農組合（集落営農）の方は分配金の計算書
※明細書・計算書等がないと申告相談に支障がでますので必ず持参ください。

■お願い

①農作業の委託費、小作料の支払いがある方は事前に支払明細書を提出ください。

②機械等を共同で購入された方は事前に販売証明書などを提出ください。

営業・不動産など事業所得のある方へ

▶ **持ち物**／収支内訳書（一般・不動産用）及び収入と経費が確認できるもの

※町の収支計算書を活用ください。

報酬・配当所得のある方へ

▶ **持ち物**／支払明細書など

給与・年金所得がある方へ

▶ **持ち物**／源泉徴収票

※中途退職者は退職時までの源泉徴収票も必要です。

障がい者控除を受けられる方へ

▶ **持ち物**／障がい者手帳など

※要介護認定を受けている方で、「身体障がい者に準ずる」と認定された場合は、障がい者控除を受けることができます。（認定書は健康福祉課介護保険係で発行します）

医療費控除を受けられる方へ

▶ **持ち物**／領収書

※出産一時金、高額医療費がある場合や保険などの補填金がある場合はその金額がのぞかれます。

※金額は事前に合計しておいてください。

住宅借入金等特別控除の適用を受けられる方へ

▶ **持ち物**

新規の方／借入金の年末残高等証明書、登記簿謄本、契約書写しなど。

※共有名義や敷地の購入等で添付書類も異なりますので事前に税務署にお問い合わせください。（長井税務署 ☎84-1810）

2回目以降の方／税務署から届いている住宅借入金等特別控除申告書、借入金の年末残高証明書

¥¹/₃²

町県民税の申告相談

期間は2月14日～3月15日です

今年も町・県民税の申告時期になりました。この申告は、平成29年度の町・県民税を算出する基礎となるほか、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料や介護保険料及び所得証明書などの税関係証明書発行の資料となる重要な手続きですので、提出の必要な方は忘れずに申告書をお出してください。(※平成28年1月1日のマイナンバー制度の導入により、申告書

にはマイナンバーを記入していただく必要があります。マイナンバーを記入した申告書を提出する際には「番号確認」「本人確認」をさせていただきます。

なお、申告相談の際の注意点などをまとめましたので、申告の必要な方は、必要な書類の事前準備をお願いいたします。

【問い合わせ】税務出納課町民税係 ☎85-6132

申告相談日程				会場
月日	曜日	相談受付地域		(対象地区)
		午前	午後	
2/14	火	中田、原、上原	堀之内、北原、針生	鷹山地区コミュニティセンター (鷹山地区)
15	水	山道、西	新屋敷1・2	
16	木	下折居、上折居、西原、細野	東小手沢、南	
17	金	南部1・2	南部3・4・5	東根地区コミュニティセンター (東根地区)
20	月	中部1・2	中部4・5・6	
21	火	北部1・2	北部3・4	
22	水	中部3、東部1・2	東部3・4	
23	木	蚕桑1・2	蚕桑3・8・10	蚕桑地区コミュニティセンター (蚕桑地区)
24	金	蚕桑6・7	蚕桑4・5・15	
27	月	蚕桑12・13	蚕桑11・14・16	
28	火	蚕桑9・17・18	蚕桑19・20	
3/2	木	鮎貝3・4・14	鮎貝10・12	鮎貝地区コミュニティセンター ハーモニープラザ (鮎貝地区)
3	金	鮎貝1・2	鮎貝11、高岡2、深山2	
6	月	鮎貝7・8・9	鮎貝5、高岡1、深山1	
7	火	鮎貝13	鮎貝6、黒鴨	
8	水	十王1・2	十王3・4・5・6	産業センター (荒砥・十王地区)
9	木	十王8・9・10	十王7、菖蒲1・2	
10	金	下山、佐野原	貝生2、八幡1・2	
13	月	貝生1、大瀬	貝生3、新町	
14	火	出来町1・2	横町1、仲町3	
15	水	仲町1・2	横町2、上町、仲町4	

※3/1(水)は申告相談を休みます。

【開館時間】午前8時30分

【受付時間】午前の部：午前8時45分～11時 (相談は午前9時開始)
午後の部：午前11時45分～午後3時 (相談は午後1時開始)



- 申告相談は受付簿に記入された順に行います。
- 相談日は地区・地域指定を行いますので、次のことに注意してください。
 - ① 指定された日の時間帯においでください。
 - ② 指定日に都合のつかない方は、同じ地区の会場のいずれかの日においでください。
 - ③ 同じ地区の会場のいずれの日にも都合がつかない方は、事前に税務出納課町民税係へご連絡(新たな日を予約)ください。

※連絡なしに指定会場以外に来られた方は、資料がないため受付できませんのでご注意ください。

- 資料等の都合上、役場庁舎内での相談はお受けできません。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 自書申告書は役場税務出納課または申告会場でお預かりいたします。
- 前年(平成28年1月1日～12月31日)の所得を申告してください。
- 申告相談終了間際は混み合いますので、早めの申告にご協力ください。

■平成28年度炭焼き体験会を開催します

▼いつ 2月4日(土)

午前9時30分～午後1時
(午前9時15分～受付)

▼どこで 白鷹町ふるさと森林公園 炭焼き窯

▼内容 白炭窯を使った炭作り体験・ドラム缶窯を使った炭作り体験 等

▼持ち物 昼食(おにぎり等)、

飲み物

▼服装 寒くない服装(長靴、帽子など)、軍手、マスク

▼参加費 一人500円(保険料、昼食時の温かい汁物)

▼申し込み・問い合わせ
産業振興課森林整備係

☎85-6125

■第45回白鷹町民・小中学校スキー大会参加者募集

▼いつ 2月12日(日)

午前8時50分開会

▼どこで 白鷹町営スキー場

▼種目
①小学男女：大回転・距離(大回転は小学1～6各学年、距離は小学3年以下、4年～6年各学年)

②中学男女：大回転・回転・距離
③シニア男子(40歳以上)：大回転・回転

④一般女子：大回転・回転(高校生以上年齢オープン)

⑤一般男子：大回転・回転(高校生以上年齢オープン)

▼申込締切 1月27日(金)正午まで。小中学生は学校ごとに

まとめて申し込みください。

▼注意事項

①当日は駐車場が大変混み合いますので、乗り合わせにご協力ください。

②当日のスキー場は、大会終了(午後1時ころ)まで一般利用できません。

③進行状況によって、一般利用開始時間が前後する場合がありますので、ご了承ください。

※大会ボランティアスタッフを募集しています。ご協力いただける方はご連絡ください。

【申し込み・問い合わせ】

教育委員会生涯スポーツ係
☎85-6147

平成29年度白鷹町日々雇用職員(臨時・パート)の登録を受け付けます

▶職種と賃金

職 種	資格要件	賃金(時給)
一般事務		788円
学校用務員	普通自動車免許取得者	788円
下水道普及相談員	普通自動車免許取得者	788円
運転手(一般系)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	1,123円
運転手(土木系・夏期)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	1,123円
運転手(土木系・冬期)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	1,226円
運転手(保育園バス)	有資格者(大型運転免許取得者)	1,741円
ボイラーマン	有資格者(2級以上)	929円
保育士	有資格者	878円
保育園バス添乗員		930円

▶通勤手当相当割増賃金

2km以上5km未満	100円
5km以上10km未満	200円
10km以上	300円

▶勤務形態 職種・職場により勤務時間、勤務日数が異なります。

▶提出書類 白鷹町臨時職員登録申請書

※役場総務課にお越しいただくか町ホームページからダウンロードしてください。

▶締め切り 2月17日(金)

※書類を提出された方は「白鷹町日々雇用職員登録名簿」に登録され、必要に応じて名簿登録者の中から面接及び書類審査による選考のうえ雇用いたします。(雇用及び選考については、原則平成29年4月1日現在で満60歳未満の方を優先的に雇用する予定です。)

※年度初めからの雇用については、2月17日までに登録いただいた方の中から選考させていただきますが、その後も登録を随時行いますのでお問い合わせください。

※なお、名簿登録者全員が雇用されるものではありませんのでご了承ください。

【受付・問い合わせ】

総務課総務係 ☎85-6120



ひがしね保育園 運営等の検討経過と 保育サービス拡充について

平成30年4月から民設民営

ひがしね保育園の今後の運営等について、昨年度公立保育所運営検討委員会からの検討報告（平成28年3月）では、「公立と民営化の両論併記となり、保護者の意見を尊重してほしい」となりました。その後、保護者や東根地域の皆様と話し合いを重ね検討した結果、平成30年4月から民設民営により運営していくこととなりました。

受託団体は社会福祉法人白鷹町社会福祉協議会

設置運営を行う法人の選定について検討した結果、こぐわ保育園とあゆかい保育園を引き継いでさくらの保育園を設置運営している実績などから、社会福祉法人白鷹町社会福祉協議会に担っていただくことに決定しました。

これまでのひがしね保育園の運営等を引継ぐため、平成29年4月から1年間同協議会職員と町職員による保育を実施します。

町としては、ひがしね保育

園の特長を引き継ぎながら、子どもたちの健やかな成長を目指して保育サービスの充実に取り組んでまいります。

平成29年4月から

2歳児保育と保育時間延長

平成29年4月からの主な保育サービスの変更は次のとおりです。

① 保育年齢は2歳児保育を実施します。

② 保育時間は午前7時から午後7時とします。（ただし、障がい児保育の時間は午前8時30分～午後4時30分です。）

**2歳児保育実施に伴う
変更申込手続き**

すでに平成29年度入所申込は締め切りでしたが、2歳児保育を実施することとなったことから、申し込みの変更を受け付けます。

▼ 申込方法 電話または直接お申し込みください。

▼ 申込締切 1月31日（火）

【変更申込先・問い合わせ】
健康福祉課子育て支援係

☎ 86-0212

荒砥高校で始めませんか？ あなたらしい充実したスクールライフを！

中学校3年生の皆さんはいよいよ進路決定の時期になりました。町では、荒砥高校のさらなる発展を願い、荒砥高校でがんばる皆さんを応援しています。



介護職員初任者研修の様子

●サポートその1 荒砥高校新入生応援プロジェクト

→荒砥高校新入生の皆さんに制服・教科書・通学定期券等の購入に使用できる応援券7万円分を贈呈します。

●サポートその2 介護職員初任者研修資格取得支援

→介護の仕事の入門とされる介護職員初任者研修を荒砥高校の生徒が受講する場合、受講料を町が支援します。（テキスト代は受講者負担）

●サポートその3 海外短期留学派遣

→平成27年度、平成28年度はオーストラリアへ5日間の短期留学を実施。現地の学生との交流やホームステイを通して、異文化や多様な価値観に触れることができます。

【問い合わせ】荒砥高校をサポートする会（事務局／企画政策課企画調整係）☎ 85-6123

まちづくり複合施設の実施設計に取り組んでいます

昨年開催した町民会議やパブリックコメントで皆様からいただいたご意見をもとに、来年度からの施設整備に向けて実施設計（詳細設計検討、建築費の積算等）を行っています。

子どもから大人まで多くの町民の皆様にご利用いただける施設になるよう検討をしており、主なものをご報告します。

● 身体の不自由な方でも安心して利用できる施設

- ・敷地内、施設内に案内用点字ブロックを設置します
- ・エレベーター、スロープを設置しバリアフリーの施設とします
- ・ハンディキャップトイレを設置します

● みんなに活用される図書館へ

- ・現在の図書館より大幅にスペースを確保し、利用しやすい図書館にします
- ・段差を活用した読み聞かせスペースを設置します（低い階段をベンチとしても利用が可能）
- ・学習コーナー（閲覧コーナー）をまちかど広場側（交差点側）に10席以上を確保します
- ・郷土資料図書の充実を図ります
- ・蔵書数は7万冊を想定しています（開架4万冊、閉架3万冊、現在は合わせて5万冊）

● 町民ラウンジの設置

- ・町民の皆さんが集え、自由に利用できる常設ラウンジを設置します
- ・にぎわいづくりを目指すとともに、待ち合わせ場所としても利用できます

● 地域産材の活用

- ・地域産木材の積極的な活用により木材利用のモデル施設として今後の森林・林業産業に寄与します

● 中央公民館等機能の充実

- ・200人規模の会議が行える大会議室を設置します
- ・授乳室の設置を行い子育て中の方も利用しやすい施設にします
- ・会議室を可動間仕切りで仕切る事により多様な用途に合わせた活用ができる施設にします
- ・和室や小中会議室を複数設置し、町民の方が利用しやすい施設とします

● 防災倉庫の設置

- ・備蓄倉庫機能や非常用電源設備などを設け、災害時対応を補完する防災倉庫を敷地内に整備します

● 雪対策

- ・屋根は堆雪を基本として、軒先等にヒーター等を配置した融雪を検討しています

● 環境への配慮

- ・暖房は、チップボイラーを設置し、地域森林資源を活用しながらCO2排出量の削減を目指します

- ・ペアガラスや高断熱壁などの採用により、断熱効率を高め冷暖房の節減を行います

□この実施設計をもとに、平成29年度は整備工事に着手する予定です。

※なお、詳細な平面図等を役場と各地区コミュニティセンターでご覧いただけます。

【問い合わせ】

企画政策課複合施設整備係

☎ 87-0691



鳥瞰イメージ

地域おこし協力隊通信

第11回

寒い冬には紅花茶で
心も体もポッカポカ

地域おこし協力隊 石井紀子

明けましておめでとうござい
ます。寒さが徐々に厳しくなっ
てきた今日の頃、この寒さ対
策に効果があるのは紅花茶です。
紅花茶は温まりの効果があり、江
戸時代、出羽三山へ詣でる人々
が腹巻に使用していました。
さて、この行者たちの多くは
農民です。出羽三山は五穀豊穰
など農業に関わる人たちが多く
信仰しており、例えば私の出身
県・千葉県は湯殿山碑の数が全
国で最も多く、村の50代以上の
男性が村の積立金で出羽三山詣
でに行っていました。これらの
農民には本紅の美しい絹織物は
手に入りませんが、花染めとい
う木綿の染物は購入できまし
た。



紅花は白鷹の寒い冬
にも大活躍です

この花染めは、私が知る限り
では、宝永6年(1709)に
販売されていたと河北町の『大
町念仏講帳』に書いてあります。
作り方は、紅餅を作る途中で出
る廃液を利用します。黄色の色
素(サフロールイエロー)を洗
い出す「花振り」を行った後に、
紅花を発酵させて赤色の色素
(カルサミン)を増加させる「花
寝せ」という作業中に出る液体
に白い木綿を浸して、ピンクや
橙色の染物を作りました。
この花染めの木綿を腰巻や下
着にして、冷えからくる体調不
良を緩和して出羽三山までの道
のりを越えていきました。この
ような記述は山形市の資料にも
見られます。もしかしたら、紅
花の産地であり、道智道が通っ
た白鷹町でも、このような布が
売られていたかもしれません。
花染めはすぐに作れませんが、
紅花茶はすぐにいれられま
す。寒い日の一服にどうぞし
よう？

町報川柳 — 歌 —

祖父ぐるまいつでも演歌真似ている
古き良き昭和歌謡に思いはせ
孫のつぎ愛犬抱いての子守歌
歌知らず歌無し宴会盛り上がる
「文化祭」隣組歌合戦拍手喝采
歌詞共に心にしみる花は咲く
歌声が心に響く花は咲く
金無いが今も歌える愛のうた
和歌を詠むつもりが何時か川柳に
愛唱歌挫折するたび助けられ
皆んなしてお手手つなげば歌になる
童歌なんば寝たらばお正月
宴会も歌で始まる旅先で
手始め身を引きしめて歌を詠む
若者とスクラム組んで労働歌
おもいででの軍歌を聞いて亡兄偲ぶ
響くかな終未準備鼻歌が
口ずさむ母の十八番の昔歌
台所で鼻歌歌い味もよし
歌声で響くこだまは町造り
佇みて茂吉の歌碑に目を閉じる
カラオケでへたな歌でもすっきりする
歌我慢晴れの舞台で唄う友
雛白髪忘れテレビの歌に酔い
カラオケで喉を披露し交わす酒
なつかしのメロデー流れ日利子忍ぶ
昭和。歌昔恋しい母思ふ
北風のマスクの中で恋の歌
歓喜せしオーケストラで歌う秋
極上の歌を奏でるハネムーン
いつの世も人の生きざま演歌がある
のどじまん演歌対向かたり歌
懐かしい昭和演歌遠くなる。
演歌よし唱歌も似合う老人会
祝い事明るく響く座敷歌
年新らた鼻歌もれる七草に

長井市 安部ありな
高岡 安部 健一
武蔵野市 池田 武子
山口 石川與次衛門
荒砥甲 五十公野かをる
荒砥乙 五十公野春己
世田谷 糸く マサ
鮎貝 植木 英夫
浅立 梅津 太一
浅立 梅津 美千子
滝野 海老名きち
世田谷 遠藤 八重
横須賀 大滝健次郎
荒砥乙 木口 とよ
菖蒲 小関 弘
萩野 紺野 五月
つくば市 斎藤 靖夫
鮎貝 佐藤 幸子
鮎貝 神保 玲子
箕和田 鈴木 トミ
荒砥甲 鈴木美貴子
十王 平 恒人
高玉 高橋 朝子
荒砥乙 土谷 灯一
箕和田 土屋 平敏
箕和田 土屋 敏子
広野 新野智耶子
高玉 橋本つね子
鮎貝 樋口 敬子
箕和田 樋口 昭吉
荒砥乙 保科 努
十王 松田 久一
十王 守谷 勝助
十王 守谷 三郎
鮎貝 横沢 直太
山口 渡部喜美子

次回「進」一月二十五日まで。 「世」二月二十五日まで。
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

第2次白鷹町健康増進計画 元気ニコニコしらたか21

GENKINIKONIKOSHIRATAKA 21

【問い合わせ】健康福祉課健康推進係 ☎86-0210

「はたちの献血」キャンペーン 【二十歳の君がつなげる命】



「はたちの献血」キャンペーンは、冬の季節、体調を崩す方が多く、献血者が減少する傾向にあることから、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、献血を正しく理解し協力いただくとともに400mL献血の継続的な推進を図ることを目的に、毎年1月～2月に実施しています。

病気やけがで苦しむ多くの人たちを守るのには、皆さん一人ひとりの献血という愛の贈り物です。皆さんのご協力をお願いします。

冬はインフルエンザやノロウイルス（感染性胃腸炎）などの感染症が流行する季節です。感染症は、ウイルスなどの病原体が体内に侵入し、増殖することで発症します。また、病原体が感染経路によって人から人へうつることで感染が始まり、流行につながります。日頃から目に見えないウイルスや細菌に注意をはらい、適切な予防法で感染予防に努めることが大切です。



感染症に注意しましょう！



感染経路		主な感染症
飛沫感染	感染者の咳やくしゃみにより飛び出した病原体を含む、唾液などの分泌物を吸い込むことで感染する	インフルエンザ、RSウイルス、風疹、おたふくかぜ、マイコプラズマ肺炎など
空気感染	感染者の咳やくしゃみなどで飛び出したウイルスや細菌の飛沫核が空気中に漂い、それを吸い込むことで感染する	結核、麻疹、水痘など
接触感染	病原体が付着した手指、目、鼻、口などに触れることで感染する	インフルエンザ、RSウイルスなど
経口感染	汚染された食べ物や手指を介して口から病原体が侵入し感染する	ノロウイルス（感染性胃腸炎）、腸管出血性大腸菌感染症（O157）など

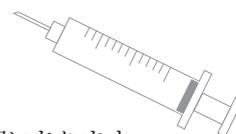
未然にブロック！

>>> 感染症の予防法

- ①手洗い、うがいを十分に行いましょう。
- ②日頃から十分な休養とバランスのとれた食事をとり、生活習慣を整えて免疫力をつけましょう。
- ③咳エチケットをこころがけましょう。
- ④予防接種を受けましょう。

予防接種は感染症にかかりにくくし、また重症化を防ぐ効果があります。子どもの定期予防接種（4種混合、麻しん風しん、日本脳炎など）は接種時期がきたらなるべく早めに受けましょう。また、町ではインフルエンザ予防接種を希望する方に右記のとおり接種費用の助成を行っています。

- | | | |
|-------------|-------|------------------------------------|
| 小
児 | ●対象 | 生後6ヵ月から中学3年生まで |
| | ●助成回数 | 生後6ヵ月～13歳未満：2回、13歳以上：1回 |
| | ●助成額 | 2,000円（1回につき） |
| | ●医療機関 | 町内及び長井市内の医療機関、公立置賜総合病院、きじまキッズクリニック |
| 高
齢
者 | ●対象 | 満65歳以上の方、満60歳～64歳で心臓・腎臓などに障がいのある方 |
| | ●助成回数 | 1回 |
| | ●助成額 | 1,500円 |
| | ●医療機関 | 県内の医療機関 |



※どちらも予約が必要です。予診票は医療機関にあります。
 ※期間は1月31日までです。
 ※生活保護の方は全額助成になります。健康福祉課にて事前手続きが必要です。印鑑をお持ちください。

「サンタさんからの手紙」

クリスマスにプレゼントをもっていくから、ほしいものをかみにかいてまどにはっておいてね！

サンタより



大興奮で自分が欲しいおもちゃをいう年少児。

年長児「ちがつよ！これはね、〇〇組みんなで遊ぶものことだよ。」

年少児A「やだよ～やだよ～」3人の年少児が大泣き。

年長児「あのね自分が欲しいおもちゃは、お家に来るサンタさんをお願いするんだよ。」

年長児「そうそう。」この場合は何とか落ち着き、みんなが欲しいおもちゃを決めて書きました。

そしてクリスマス会の日。クラスに届いたプレゼントを見て

年少児A「ぼくのおもちゃがない！」とまた大泣き。

年長児「大丈夫だよ。Aくんのおもちゃは、明日きつとサンタさんがお家にもってきてくれるよ。」

年少児A「本当?！」すぐに泣きやみ笑顔が戻りました。

支出日	区分	支出額(円)	内 容
12月 2日	御祝	3,300	ヤナ仕舞い及び鮎供養祭
12月 5日	香典	10,000	桶川市議会議長弔慰金
12月 12日	御祝	3,000	白鷹ライオンズクラブ クリスマス例会
12月 14日	贈答品	19,088	重要事業要望
12月 20日	香典	10,000	元職員弔慰金
	香典	5,000	元農業委員弔慰金
	香典	5,000	山形市白鷹ふるさと会会長ご親族弔慰金

支出日	区分	支出額(円)	内 容
12月 22日	御祝	5,000	蚕桑地区新春のつどい
	御祝	5,000	鮎貝地区新春懇談会
	御祝	5,000	荒砥地区新春交流会
	御祝	5,000	十王地区新春懇談会
	御祝	5,000	鷹山地区新春地域振興懇談会
	御祝	5,000	東根地区新春交流会
12月 27日	御祝	3,200	いきいき深山郷交流広場整備事業安全祈願祭
	計	88,588	

町長の主な動静

12月

月 日	行 事 名
12月 1日	民生委員・児童委員委嘱状伝達式
	民生委員・児童委員感謝の会
	ヤナ仕舞い・鮎供養祭
12月 2日	白鷹町 PTA 連絡協議会 町長と語る会
12月 3日	白鷹スポーツ振興懇談会
12月 6日	第7回白鷹町議会定例会（第1日目）
12月 7日	議会運営委員会
	第7回白鷹町議会定例会（第2日目）
	予算特別委員会
	まちづくり複合施設等整備特別委員会
12月 8日	総務厚生常任委員会
12月 9日	産建文教常任委員会
12月 11日	梅津五郎芸術賞表彰式
12月 13日	全員協議会

12月

町長交際費

月 日	行 事 名
12月 13日	議会運営委員会
	第7回白鷹町議会定例会（8日目）
12月 14日	重要事業要望 ～15日まで（東京都）
12月 16日	白鷹町営スキー場安全祈願祭
12月 17日	いきいき深山郷交流広場整備事業安全祈願祭
	丸川恵子氏地方教育行政功労者表彰受賞祝賀会
12月 20日	山形・宮城国道113号整備促進期成同盟会要望会
12月 23日	樋口三次郎氏叙勲受章祝賀会
12月 25日	国際交流協会主催クリスマスパーティー
12月 26日	西置賜行政組合議会臨時会
	山形鉄道(株)取締役会
	白鷹町産業振興戦略会議
12月 27日	置賜広域行政事務組合議会議員全員協議会
12月 28日	仕事納めの式

R e f u s e e d u c e e u s e e c y c l e

しらたか 4 R 情報

～ごみ減量 できることから はじめよう～

問 町民課くらし環境係 ☎85-6131

「食品ロス」を減らす3つのポイント

①「消費期限」と「賞味期限」を正しく理解

【消費期限】食べても安全な期限。(期限を過ぎたものは食べない方が安全)

【賞味期限】おいしく食べることができる期限。賞味期限は、期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。自分で食べられるかどうか判断しましょう。

②買い物は必要に応じて

- 買い物の前に冷蔵庫の中を確認しましょう。お買い得商品を必要以上にまとめ買いしたり、同じ食品を買ってきてしまったり……という経験はありませんか。

③調理を工夫

- 残っている食品から使いましょう。
- 捨ててしまいがちな野菜の皮や茎の部分も使い切りましょう。(栄養が多く含まれていることがあります)
- 食べきれなかったものは、冷蔵庫に保存して早めに食べましょう。

もったいない！ 食べられるのに捨てられる 「食品ロス」を減らそう

食品ロスとは？

食べ残しや手つかずの食品などの、まだ食べられるのにも関わらず捨てられている食べ物のことです。

日本では「食品ロス」が年間約632万トにも上ります。これを1人当たりで計算すると、「お茶碗約1杯分(約136g)のご飯の量」が毎日捨てられていることになります。



身近にある「もったいない」を減らすため、できることから始めてみませんか？

× 365日
= **もったいない！**

除雪機での作業も
十分注意しましょう！



安全な服装

安全な雪下ろし作業『7つのポイント』

- ①作業は2人以上で！（やむを得ず一人の時は携帯電話を携帯して）
- ②服装は濡れないもの汗をかきすぎないもの（防水・防汗）
- ③はしごはしっかり固定！（足元も先端も。角度は75度に）
- ④高所作業（2m以上）では命綱は必須！
- ⑤道具はスキルに合わせ、メンテもしっかり！
- ⑥気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意！
- ⑦体調管理は万全に（準備運動で体を温める。早めの水分補給）

雪による事故被害の原因でもっとも多いのは、自宅など建物の屋根の雪下ろし中の事故で、特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。次のポイントに注意して、雪下ろし作業は安全に行いましょう。

1月20日（金）～2月5日（日）は、
「雪害事故防止週間」です。

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク



見守り支え合い

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

認知症・介護に関するご相談は
地域包括支援センター TEL86-0112

このステッカー、
見かけたことありませんか？



協力者の目印です！ 「見守り・支え合い」ステッカー

左記ステッカーを「〇〇」に行く途中で見かけたことがある「〇〇さんの家があった」「いつも行っているお店で見かけた」ということはありませんか？

このステッカーは「見守り・支え合い」ステッカーと言います。認知症のかたの見守りやそのご家族の相談にのっていただける協力者の目印です。現在、町内300カ所以上に掲示されています。

ステッカーの掲示に協力をしていただいているのは、各区长、町内長、民生委員・児童委員、商店、医療機関、薬局、美容院、理容院などです。認知症に理解があり、地域で認知症のかたを温かく見守ってくれます。

近くに理解者がいることは、認知症のかた本人やご家族にとって大きな力や支えになります。「見守り・支え合い」ステッカーを見つけて、気軽に話をしてみませんか。

保育園・こども園 給食放射性物質検査結果

- 期間 12月8日（木）～14日（水）
- 測定限界 0.77～1.40Bq(ベクレル) /kg

	放射性ヨウ素	放射性セシウム
ひがしね保育園	不検出	不検出
さくらの保育園	不検出	不検出
愛真こども園	不検出	不検出
よつばこども園	不検出	不検出

■問い合わせ
健康福祉課子育て支援係 ☎86-0212

《婚活応援室》

- 1月の開催日
1月25日（水）
午後4時～7時
 - 2月の開催日
2月22日（水）
午後4時～7時
 - ▼場所 健康福祉センター
2階相談室
 - ▼相談料 無料
 - 問い合わせ 健康福祉課
子育て支援係
- ☎86-0212

広告

大好評 弁当・オードブル 仕出し

御法要・各種宴会

ご持参 幹事さんに大好評
2時間飲み放題コース
(ご予約に依ります。ご相談ください)
(おラジケ ヴーベス)
*町内どこでも送迎無料

弁当 ¥1000～
無料配達いたします

道の駅白鷹やな公園 **あゆ茶屋**
TEL 0238-85-5577 FAX 0238-85-5640

荒高掲示板

沖縄への修学旅行で学んだこと
—平和学習で歴史の重み・命の尊さを学ぶ—

12月2日から5日までの4日間、沖縄へ修学旅行に行ってきました。亜熱帯や東シナ海の気候風土体験、琉球王国の史跡見学・文化体験、戦跡地や軍事基地に関わる体験や学習などを主な目的として、事前学習を有効に活用した充実した研修となりました。

1日目は、首里城公園（守礼門・歓会門・正殿）。2日目、は轟の壕（体験入壕）、摩文仁・平和記念公園・平和の礎、ひめゆりの塔・ひめゆり平和記念資料館、山形の塔、旧海軍司令部壕。3日目は、むら咲むら（体験活動）、今帰仁城跡（世界遺産）、美ら海水族館。4日目は那覇市内班別自主研修。

特に2日目の平和学習では、実際に自分の目で見て、耳で聞いて、触れてきて、思うところが多かったようです。ここで修学旅行委員長の飯澤悠斗くんが2日目の平和学習でひめゆりの塔に捧げた平和宣言を紹介します。

平和宣言

約70年前、この地、沖縄では戦争という恐ろしい出来事が、人々から何もかもを奪い去りました。

日本で唯一地上戦が行われた沖縄では、20万人以上の人々が亡くなり、その中には、ひめゆり学徒隊や斬り込み隊となり戦場に行き犠牲になった私達と同世代の人達もいました。彼らもきつと、今の私達のように、友達と笑ったり、泣いたり、喧嘩したり、そんな毎日を過ごしたはずはです。

悲惨な戦争から71年が経った今日、私達若者をはじめ、多くの人々はかつて日本に戦争があったことを知らないかのように過ごしています。知ろうとさえしていないのかも知れません。

戦争が奪ったものは幸福です。しかし、今、私達が平和な国、日本に住む事ができているのは、戦争という残酷な過去があったからというのも事実です。しかし、残念ながら今でも世界の一部では戦争状態が続いています。私達はこのような世界の現実をしっかり見つけなければなりません。

私達に今できることは何でしょうか。それは、過去を知ること、そして同じ過ちを繰り返さないことです。また、当たり前に過ぎていく毎日を当たり前だと思わず、日々笑顔で過ごしていることに感謝して生きていくことです。

過去の過ちから学び、私達が平和の先導者になることをここに宣言します。

平成28年12月3日

山形県立荒砥高等学校 2年次

1_平和宣言を読み上げる飯澤くんと荒砥高校2年生 2_千羽鶴に平和への祈りを込めた



飯澤くんの平和宣言を思い起こしながら、平和の尊さと生命の大切さを再確認しました。修学旅行はこれで終わりではなく、事後指導と事後学習も大切にしていきます。

看護師・准看護師・作業療法士・精神保健福祉士 募集

小児科・内科・精神科
児童精神科・老年精神科
神経内科・リハビリテーション科

医療法人 杏山会

 吉川記念病院

お問い合わせ：吉川記念病院 人事担当までお電話ください

- 吉川記念病院では、看護師さん、准看護師さん、作業療法士さん、精神保健福祉士さんを募集しています
- 准看護師の資格をお持ちの方で看護師を目指している方や看護学校及び准看護師学校へ入学希望の方、当病院の修学資金制度を利用してみませんか



 0238-87-8000

広告

ゆとりをもって、 ゆっくりスピードで冬道を安全に！

積雪や路面凍結、悪天候の視界不良など道路環境が悪化し危険性が増す時期です。



●道路わきの雪山や悪天候による視界不良に要注意！

- ①道路を横断するときは見通しの良い所を選び、しっかり確認して「ゆとり」をもって横断しましょう。
- ②雪山の陰からの歩行者の飛び出しに注意し、ゆっくりスピードの運転を心がけましょう。
- ③冬道は「滑りやすい」「見えにくい」「わだちができる」「道幅が狭くなる」等の危険が続きます。歩行者もドライバーも気を引き締めて交通事故防止に努めましょう。

●踏切事故要注意！

- ①踏切の手前では、必ず一旦停止し、安全を確認してから渡ってください。特に、冬季間は路面凍結によるスリップに備え、踏切手前では十分に減速しましょう。また、積雪などにより踏切が確認しにくい場合があります。誤って線路に進入しないよう、はっきり確認してから通行してください。

②警報機が鳴ったら、踏切内への無理な進入はやめてください。

③踏切の中に閉じ込められた場合は、そのままゆっくり車を前進させてください。(遮断棒は、車で押せば前方に跳ね上がります。)

④踏切内で動けなくなった場合(脱輪等)は、まず列車を止めてください。

- ・非常ボタンがある時は、カバーの上から強く押してください。信号機が作動し、列車に異常を知らせます。

- ・非常ボタンがない時は、列車に向かって大きく手を振るなどして危険を知らせてください。発炎筒や赤色の物を使用すると効果的です。

- ・列車が停止した後、付近の人等の協力を得て脱出してください。

※脱出後は、最寄の駅に連絡してください。



「日本の紅（あか）をつくる町」が 反射材になりました！

町では「日本の紅（あか）をつくる町」の反射材を作成しました。

この反射材は今後、交通指導員の交通安全教室に参加していただいた皆さんにお配りします。

また、数に限りがありますが、ご希望の方には無料で差し上げますので、ご希望の方は町民課くらし環境係までおこしください。

町民課くらし環境係 ☎ 85-6131 / 長井警察署 ☎ 84-0110 / 白鷹西駐在所 ☎ 85-2029 / 白鷹東駐在所 ☎ 85-2046

広告

受講料
無料

3月開講の公共職業訓練 受講者募集！

医療事務・介護サービス科（6ヶ月コース）

定員 20名

訓練期間 平成29年3月13日～平成29年9月12日

対象者 求職者（ハローワークに求職登録している方）

費用 受講料は無料（テキスト代等の実費は自己負担）

お問合せ ☎ 023-686-2015（ポリテクセンター山形）

※医療事務の知識と技術を学びます。併せて介護の知識と技術についても学び、安定した就職を目指します。訓練終了後には介護職員への道も、医療事務への道も選べます。

募集締切 平成29年2月16日（木）

選考日 平成29年2月27日（月）

訓練場所 ニチイ山形校（山形市香澄町）

申込はハローワークの職業相談窓口へ

情報アラカルト Information

インフォメーション

募集

町営住宅入居者を募集します

《神明アパート》

- ▼所在地 白鷹町大字鮎貝2468-10
- ▼募集戸数 1戸(一般用)
- ▼間取り 3DK(8+6+4・5畳十台所+浴室)
- ▼家賃 所得額等により月額1万8500円〜3万6400円
- 《宝前町住宅》
- ▼所在地 白鷹町大字十王5502-14
- ▼募集戸数 2戸(一般用)
- ▼間取り 3DK(8+6+6畳十台所+浴室)
- ▼家賃 所得額等により月額1

万6500円〜3万2500円

《共通事項》

- ▼敷金 家賃の3ヶ月分
- ▼入居資格 住宅困窮者で、入居世帯の収入が公営住宅法の基準以下で、同居する親族がいる方及び暴力団関係者ではない方
- ▼入居可能日 2月下旬
- ▼募集期間 1月12日(木)〜1月23日(月)まで
- ※土日を除く。

- ▼申込方法 平成27年分・平成28年分の源泉徴収票の写し、平成28年度所得証明書など入居者全員の所得がわかるもの及び住民票謄本、個人番号が確認できる書類が必要となります。(マイナンバー制度の導入により、申込者の要件により提出書類が異なる場合があります。)詳しくはお問い合わせください。
- 問い合わせ 建設水道課管理係 ☎85-6140

平成29年度採用の白鷹町社会福祉協議会職員を募集します

▼募集内容

- ・保育士 3名程度
- ・看護師 1名
- ・調理師 若干名
- ▼受験資格

【保育士】

①一般枠 平成3年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方で、保育士及び幼稚園教諭の資格を有する方、または取得見込の方

②社会人経験枠 昭和51年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた方で、保育士及び幼稚園教諭の資格を有し

- ・片方の資格のみの場合は、もう片方の資格について取得見込、取得予定であること)、保育園、幼稚園に1年以上勤務経験のある方
- 【看護師】昭和51年4月2日以降に生まれた方で、看護師の資格を有する方、または取得見込の方
- 【調理師】昭和51年4月2日以降に生まれた方で、調理師の資格を有する方、または取得見込の方

- ▼試験日
- ・1次試験 2月19日(日)
- ・2次試験 3月上・中旬予定
- ▼試験内容
- ・1次試験 専門試験(①一般枠の方のみ)、職場適応性検査、作文試験
- ・2次試験 面接試験
- ▼試験会場 白鷹町健康福祉センター(1次・2次共通)
- ▼申込受付期間 1月12日(木)

〜2月8日(水)

※郵送の場合は2月8日必着。

▼申込受付時間 午前8時30分〜午後5時まで

※土日を除く。

- ▼申込方法 申込書に必要事項を記入し、写真(3カ月以内に撮影したもので、タテ4センチ×ヨコ3センチ、無帽、上半身、正面)を貼り、住民票抄本(本籍記載)、保育士証、幼稚園教諭免許証、看護師免許証及び調理師免許証の写し、または資格取得見込証明書を添付してください。郵送の場合は必ず「簡易書留」により送付してください。
- ※申込書及び募集要項は、健康福祉センター内白鷹町社会福祉協議会で配布します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、返信用封筒(長形3号に82円切手を貼り宛先を明記したものを同封してください)。
- ホームページ (<http://www.shirataka-syakyu.com/>)からダウンロードできます。
- 申し込み・問い合わせ 社会福祉法人 白鷹町社会福祉協議会

〒992-0831
白鷹町大字荒砥甲488番地
白鷹町健康福祉センター内

☎86-0150

☆保育士・調理師及び一般事務職員(保育園関係)については、嘱託・パート職員も募集しています。詳細はお問合せください。

チェーンソー安全利用 研修会の開催について

チェーンソーによる安全な伐木造材作業と、目立て等の整備方法を学ぶ研修会を開催します。

いつ 2月10日(金)
午後1時〜4時

▼どこで 飯豊少年自然の家

▼内容
・講話：安全な伐木造材作業について

・実習：チェーンソーの整備(目立て等)について

▼定員 25名(定員になり次第締め切り)

▼参加料 無料

▼申込締切 2月6日(月)

▼その他 実習を行いますので、作業着・軍手等でお越しください。また、チェーンソーや目立て道具(丸やすり等)をお持ちの方はご用意いただき、チェーンソーを持参しない方はその旨お知らせください。

なお、この研修は労働安全規則第五九条第三項の特別教育に

「皆さんの温かいご支援をお願いします」
糸魚川市大規模火災義援金の募集

日本赤十字社は、昨年12月22日の新潟県糸魚川市における大規模火災により被災された方々の生活再建の一助とするため、義援金の受け付けを行っています。

お寄せいただいた義援金は、全額を被災された皆様にお届けします。なお義援金は税制上の優遇措置の対象になります。

- 義援金名 平成28年新潟県糸魚川市大規模火災義援金
- 受付期間 3月31(金)まで ※土・日・祝日は除く
- 受付場所 白鷹町役場1階ロビー・白鷹町健康福祉センター

※熊本地震災害、台風10号等災害及び鳥取県中部地震災害への義援金は、健康福祉課で受け付けています。

【問い合わせ】日赤白鷹町分区事務局／健康福祉課福祉係
☎86-0111

県森林整備課からのお知らせ

は該当しません。
■申し込み・問い合わせ
置賜総合支庁森林整備課普及担当
☎0238-2616065

やまがた緑環境税を活用して、地域の森づくり活動をしてみませんか。
平成29年度山形県みどり豊

- かな森林づくり推進事業による県民参加の森づくり活動の募集を行います。
- ▼支援する活動内容 平成29年度中に実施する取組み
- ①豊かな森づくり活動
 - ②自然環境保全活動
 - ③森や自然とのふれあい活動
 - ④木に親しむ環境づくり
- ▼募集期限 2月6日(月)まで
- 問い合わせ 置賜総合支庁

森林整備課森づくり推進室
☎0238-3519053

※事業の実施については、平成29年度の予算成立が前提となりますので、ご了承ください。

タブレット(ipad)
& パソコン教室

初めての方、シニアの方大歓迎です。ぜひ受講ください。

▼いつ

【タブレット(ipad)講座】

2月1日(水)・8日(水)・15日(水)

【パソコン講座】

3月1日(水)・8日(水)

※時間はいずれも、午前10時～昼12時、午後1時30分～3時30分の2時間ずつ計4時間

▼どこで 白鷹町総合情報センター(白鷹町産業センター隣接)

▼定員

・タブレット(ipad)講座 5名
・パソコン講座 10名

※応募多数の場合は抽選となります。

▼料金 無料

▼申込締切 各講座開催日の1週間前まで

※受講の可否については、締切後にご連絡します。

お知らせ

行政相談所を開設します

行政機関に関する苦情・要望などお気軽にご相談ください。秘密は厳守し、無料です。

▼いつ 1月25日(水)

午後1時30分～午後3時30分

▼どこで 老人福祉センター

▼担当者 行政相談委員

樋口久子さん ☎85-4574

田中恵治さん ☎85-4120

■問い合わせ

山形行政評価事務所

☎023-632-3113

町民課らし環境係

☎85-6131

ひきこもり相談会について

「ひきこもり、不登校で悩んでいる方々へ」

春を呼ぶ沖縄島唄ライブ開催!

與那嶺商会 がやってくる!

歌あり爆笑トークあり

パレス松風 コンベンションホール

2月25日(土)

4,000円 (税込)

18時～ 前受券好評発売中!

2ドリンク・おつまみ入湯券付き

白鷹町ふるさと森林公園 鷹野湯温泉パレス松風 お問い合わせ: 0238-85-1001 ☎0120-28-1004

女性におすすめ!

日帰り湯ったりプラン(平日限定)

平日のお昼は気の合うお友達とわいわいがやがや。値段もお手軽。女子会等にどうぞご利用ください。

料金: 2,160円

(朝食込/庶料・町内送迎サービス)

ご利用時間: AM10:00~PM3:00

※4名様以上でご予約ください。入湯料は別途となります。



ご家族、友人、知人、もちろん本人でも構いません。誰にも相談出来ずに一人悩んでいる方、ひきこもりや、不登校で悩んでいる方。年齢も一切問いません。どんな些細なことでも構いません。一度ご相談下さい。

【With優 相談会】

▼いつ 2月13日(月)
午前10時～午後4時

▼どこで 中央公民館 第3研修室

▼内容 専門の相談員が無料で学校のことや就労のことについての相談に対応します。ご家族からの相談も受け付けます。

■問い合わせ NPO法人With優 安達

☎0238-33-9137

※基本的には予約優先で相談に対応します。

イノシシの狩猟期間が延長されます

山形県では、イノシシによる農林業被害の軽減及び生態系被害の防止を図るため、今年度よりイノシシの狩猟期間が11月15日～2月15日から11月15日～3月31日に延長されています。

この期間に作業等で山野に入る場合は、迷彩服などでは

だけ避け、目立つ色の服を着用するなどのご協力をお願いいたします。

■問い合わせ 置賜総合支庁保健福祉環境部環境課

☎0238-26-6035

町立病院からのお願い

インフルエンザや感染性胃腸炎が流行しています。

病院では、院内感染対策として、小さいお子様・体調のすぐれない方の、入院患者様へのご面会をご遠慮いただいております。また、ご面会の際は、マスクの装着をお願いいたします。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■問い合わせ 白鷹町立病院事務局 ☎85-2155

置賜広域行政事務組合指名競争入札参加登録申請受付について

次の指名競争入札参加の登録申請を受け付けます。

①平成29～30年度に行う建設工事

②平成29～30年度に行う測量・建設コンサルタント業務等

③平成29～31年度に行う物品納入・役務提供

▼受付期間

①②2月1日(水)～20日(月)

③1月16日(月)～2月3日(金)

※郵送の場合は当日消印有効。

※申請に必要な書類等、詳細はホームページ(<http://www.okikou.or.jp/>)をご覧ください。

■申請先・問い合わせ

〒992-00012
米沢市金池三丁目1番55号
置賜広域行政事務組合事務局施設課施設係

☎0238-26-7488

緊急の時は110番 相談事は#9110

◎事件・事故の緊急通報は「110番」へ

・110番は県警本部通信指令課で受理し、管轄の警察署や付近のパトカーへの指令によって現場へ迅速に警察官を向けます。

・携帯電話からも、市外局番なしで「110」をプッシュすることで通報ができます。

・係員が順序立てて質問しますので、落ち着いてお答えください。

◎緊急でない各種相談は、相談専用ダイヤルの「#9110」などへ

・110番は緊急通報用の番号ですので、緊急ではない各種相談は相談専用ダイヤルの「#9110」または長井警察署や最寄りの交番交番、駐在所にお願いします。

・110番と同じく、24時間体制で受け付けています。

■問い合わせ 長井警察署地域課 ☎84-0110(代)

あすのば入学・新生活応援 給付金について

あすのば入学・新生活応援給付金は、平成29年4月に入学者や新生活を迎える方々を対象に、公益財団法人あすのばが実施する返済不要・成績不問の給付金です。

▼申込対象

(1)生活保護を受けている世帯の子ども

(2)住民税非課税世帯の子ども

(3)児童養護施設・母子生活支援施設・里親など社会的養護のもとで生活している、平成29

年4月までに施設退所など自立生活を予定している子ども

以上の(1)～(3)の人で、次の①～④にあてはまる人。

①平成29年4月に小学校に入学者(小学校入学生)

②平成29年4月に中学校に入学者(中学校入学生)

③平成28年度末に中学校を卒業する人(中学校卒業生)

④平成28年度末に高校またはそれに準ずる学校の卒業予定の人、あるいは平成29年4月に

大学・短大・専門学校またはそれに準ずる学校への進学予定の人(高校卒業生等)

▼給付額及び募集人数

・小学校入学生 3万円(300人募集)

・中学校入学生 3万円(400人募集)

・中学校卒業生 4万円(600人募集)

・高校卒業生等 5万円(500人募集)

▼申込期限 1月23日(月)

※当日消印有効

なお、申込方法など、詳しくは公益財団法人あすのばホームページ(<http://www.usnova.org/>)をご覧ください。

■問い合わせ 公益財団法人あすのば

☎03-6277-8199

※受付時間は、月～金曜日の午前10時から午後6時までです。

☆申込書は健康福祉課子育て支援係に備えています。

比良松道一氏講演会

今なぜ自炊力なのか

～白鷹町の食の伝承力調査から～

九州大学（福岡市）では「自炊塾」という講座が人気を集めています。コンビニ弁当や外食に頼らず、自炊する能力を身に付けて栄養学や食費、日本の食文化まで、食に関する様々な分野を実践的に学ぶ試みで、履修単位として認められています。現在の大学生を観察する過程で「このまま放っておけない！」と「自炊塾」を始めたのが、今回の白鷹学講師・比良松道一氏です。

その比良松氏が、白鷹町と長井市で「食の伝承力調査」を実施しました。さてその結果は、そして、そこから見てきたものとは・・・地元白鷹町に暮らす私達が、ぜひ聞いておきたい講演です。

日時 平成 29 年 1 月 20 日（金）午後 7 時（開場午後 6 時 30 分）

会場 白鷹町健康福祉センター すこやかホール



■講師 九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター
准教授 比良松 道一（ひらまつ みちかず）氏

【プロフィール】1965年、福岡県福岡市生まれ。農学博士。

福岡県農業総合試験場を経て九州大学へ。

園芸植物資源の生態や進化、保全に関する研究に明け暮れていた頃、

研究室の女子学生が始めた「弁当の日」に参加し、食育に目覚める。

当時、保護者会長を務めていた宗像市立河東小学校学童保育において、

即、弁当の日を実践。共働き家庭や片親家庭を中心とした現代の

「共同の子育て」を充実するうえで、弁当の日が大変有効な方法で

あることを実証した。

現在、「人も生き物も”持ちつ持たれつ”」をキーワードに、

大学生や小学生、一般市民、子育て支援団体を対象とした

食・環境・子育てに関する講義・講演活動・ワークショップ

を展開中。



入場無料

（整理券が必要です）

■整理券取扱い 白鷹町教育委員会、白鷹町中央公民館、各地区コミュニティセンター、
白鷹町文化交流センターあゆむ、白鷹町健康福祉センター

次回・白鷹学講座パート6のお知らせ

日時：平成 29 年 3 月 5（日）①10時～11時30分 ②14時～15時30分 会場：白鷹町産業センター（パワーセンター白鷹）ホール

内容：食育ドキュメンタリー映画「いただきます」上映会

主催：白鷹学講座企画委員会、白鷹町教育委員会、白鷹町中央公民館

後援：白鷹町食育・地産地消推進協議会、白鷹町健康づくり推進員協議会

問合せ 白鷹町教育委員会 生涯学習・文化振興係 TEL0238-85-6146

うたごえ喫茶あゆーむ

いつ 1月29日(日)

午後1時30分より

どこで ホール

会費 500円

(ワンドリンク付き)

定員 80人

(定員になり次第締切り)

申し込み 申し込みください。

唱歌・フォーク・歌謡曲・演

歌など：誰でも一度は聴いた

こと・歌ったことのある名曲

を、みんなで歌いましょう。

歌に自信がない方も気軽に参

加できます。カラオケとはま

た違った一体感が魅力。リク

エストもお受けします。

●白鷹町

現役アーティスト展

いつ 平成29年1月11日

(水)～29日(日)

午前9時～午後5時

どこで ギャラリー

休館日 1月16日(月)、

1月23日(月)

観覧料 一般個人300円

高校生以下 無料

主催 白鷹町現役アーティ

スト実行委員会

共催 白鷹町文化交流セ

ンター

後援 白鷹町、白鷹町教育委員会

白鷹町は数多くの芸術家を

輩出している土地柄です。今

回は白鷹町在住の作家、故郷

を離れて活躍する作家計22名

の作品を紹介します。人選基

準は「県美展入選」以上。出

展者は次の通りです。

〔絵画〕

安部昭二(白鷹町)／飯鉢王

朝(宇都宮市)／石堂弘(牛久

市)／江口勝雄(白鷹町)／小

野ひで(八千代市)／高橋哲夫

(熊谷市)／竹田洋子(白鷹

町)／芳賀則政(白鷹町)／芳

賀文治(東大和市)／橋本満

弘(白鷹町)／別府忠雄(牛久

市)／山田久雄(山形市)／渡

辺久美(白鷹町)

〔彫刻〕

松下圭助(白鷹町)

〔工芸〕

青木邦明(山形市・鍍金)／金

田利之(白鷹町・陶芸)／黒沢

君男(白鷹町・漆芸)／小松ト

モ(白鷹町・染織)／小松紀夫

(白鷹町・染織)／谷口ようこ

(小山市・人形)／樋口昌弘(白

鷹町・陶芸)

「チャリティー作品展」(即売

会)も同時開催。太字はチャリ

ティ作品展参加者。

現役アーティスト展

レセプションのお知らせ

日時 1月22日(日)

午後5時より

会場 文化伝承室

会費 3000円

白鷹町のアーティストが一堂に

会するチャンス。旧交を温め、応

援し、芸術談義に花を咲かせま

しょう。一般の方も遠慮なくご参

加ください。

あゆーむ
白鷹町文化交流センターAYU:M
[TEL] 85-9071 [FAX] 85-9072
[E-mail] shirataka@ayu-m.jp
[URL] http://www.ayu-m.jp/
開館時間
午前9時～午後5時 ※夜間のご予約がある
場合は午後10時まで(ギャラリーを除く)。
平成29年2月までの休館日
1/16(月)・23(月)・30(月)
2/6(月)・13(月)・20(月)・27(月)

白鷹町総合型地域
スポーツクラブ通信
ROKKUを楽しもう♪
Vol.55

※2つのスキー教室を
同時開催!

いつ 1月29日(日)

午後2時

54時

場所 白鷹町営

スキー場

申込締切 1月20日(金)

グレンデ、クロスカントリース

キーコースの2か所に分かれて

の指導になります。

初めてのスキーを楽しく

「ジュニアスキー教室」

対象 幼児から小学校3年

生までの初心者

持ち物 スキー用具一式

参加費 3000円(当日)

定員 8名

コツを覚えて速く滑ろう

「クロスカントリー

スキー教室」

対象 経験者、スキー大会

出場者等

持ち物 クロスカントリース

キー用具一式

参加費 1000円(当日)

問い合わせ・申し込みは
すべて事務局まで

◎ヨガ&フィットネス教室

初めての方でもお気軽に!

いつ 1月23日(月)

「アロマヨガ」

いつ 2月13日(月)

「ステップで美脚☆基礎代謝up」

午後7時30分～8時30分

対象 どなたでも

場所 東陽ホール

参加費 会員 500円

非会員 800円

体験 初回無料

◎ROKKUけんこう塾

定期的カラダを動かしま

しょう!「1人では続けられな

くても、仲間がいれば続けられ

る!」初心者大歓迎♪

いつ 毎週火曜午前10時

場所 中央公民館

対象 大人・シニア

※1月24日、2月14日はスト

レッチ、1月17日、31日、2月

7日は3B体操になります。

白鷹町総合型地域スポーツクラブ
ゆめスポしらたか
ROKKU
「ROKKU」会長 岡田 明
(白鷹町武道館内)
tel.87-8988
E-mail rokku@sgic.jp
ホームページ
「ゆめスポ
しらたか」
で検索。または、

戸籍の窓

【12月1日～12月31日 届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
松野 剛	荒砥甲
坂本 法子	広島県
鈴木 保智	荒砥乙
島貫 里美	川西町
吉田 竜也	荒砥乙
梅津 桐里	畔藤

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
畔藤	小林 邦弘 勝子	ゆき 希
鮎貝	青木 秀昭 瞳	つむぎ 衣
鮎貝	金田 忠文 智恵美	そら た

おくやみ

住所	氏名	年齢
下山	安部 雅二郎	86
畔藤	長谷部 桂	28
高玉	原 信江	89
荒砥甲	菊地 きみ	90
下山	吉田 英一	76
十王	平 よね子	74
荒砥甲	新野 きよ系	91
畔藤	大木 つる系	102
荒砥乙	松木 敏子	82
山口	岩崎 勢一	87
高玉	長谷部 敏	83
畔藤	梅津 いと	92
横田尻	横澤 壽一	65
鮎貝	横山 茂	73
荒砥甲	大宮 正吾	93
中山	佐藤 福藏	73
横田尻	金田 與一	69
荒砥甲	鈴木 貞子	90
箕和田	土屋 龍雄	81
広野	川井 きみ	75
山口	榎本 正弘	70
荒砥乙	佐藤 正司	94

鷹山地区の1年をカレンダーに—— 「TAKAYAMA Calendar 2017」を制作

鷹山地区では、平成29年のカレンダー「TAKAYAMA Calendar 2017」が、同地区自治振興会とコミュニティセンターによって400部制作され、新年を前に全世帯に配布されました。

カレンダーには、コミュニティセンターや各地域の行事の写真が多数掲載されており、その月々の行事を楽しむ



カレンダーを手に笑顔を見せる
横山センター長

住民の様子や、四季の移り変わりなどを感じ取ることができます。

今回が初めての制作となったオリジナルカレンダーについて、横山二男センター長は「写真を見て昨年の思い出を思い起こしたり、さまざまな行事を今後も続けていこうと思うきっかけになってくれたらうれしい」と話しました。

— 表紙の写真 —



「キルトフレンズ“花”（代表・新野良子さん）の皆さんの匠の手仕事によって生まれた2017年の干支「酉」。1体作るのに1日以上はかかるという作品を数十体、10月から作り続けてお正月を迎えました。

皆さんは、思い思いに大きさやデザインを工夫し、布や柄が違えば表情が変わる様に魅せられ、次々と作られたとか。手作りの温かさがありますね。

お詫びと訂正

「広報しらたか 12月12日号」11ページの「第66回“社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト」の記事内で誤りがありました。下記のとおり訂正してお詫びします。

■最優秀賞【中学校の部】

(誤) 丸川 和沙 → (正) 丸川 和紗

※戸籍の窓に載せたい方は、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。



教えていただいた人
宮部壮司さん（中山）

私も地元の方に作り方を教えて
いただきました。ぜひ皆さん
も作ってみてください。



今月の旬
「くるみ」

旬の“うまい”を 菜発見

さいはっけん

地域おこし協力隊が見つけた、
しらたかの旬の“うまい”をご紹介します。
地元の食材で作ることのできる味を、
皆様のご家庭でもぜひどうぞ。

みそもち

材料（約15人分）

- もち米……………1,500g
- みそ……………250g
- 三温糖…250～300g（甘さ控えめ）
- くるみ…お好みで（はじめに砕いておく）

作り方

- ① もち米を蒸かす際に、もち米の上にもそをのせて一緒に蒸かす。
- ② もち米が指で簡単に潰れるくらいまで蒸かしたら臼に入れ、杵でこね、つく。
- ③ ある程度ついたら、砂糖を3回くらいに分けて加え、さらにつく。
- ④ ③に砕いておいたくるみを入れて軽くつく。ゴマを加えるとさらにおいしくなります。



中山地区の「やってみんべ して
みんべ（※）」のイベントに参加し、
作り方を教わりました。実際に杵と
臼を使って人力でおもちをついたの
で、大変でしたがその分とてもおい
しいみそもちができました。
家庭によって全く味が違うと聞い
たので、いろんなおうちのみそもち
を食べ歩きしたいなあと、密かに
思ったのでした……。



地域おこし協力隊
茅野 唯さん

女子ですが、意外と餅つきは
得意です（笑）



（※）中山地区で農業を営む宮部さんと土屋明美さんが主体となり、さまざまなイベントを企画して中山地区の魅力をPRしています。

▼さて、2017年は酉年です。今年はず高く大きく羽ばたく鷹の如く、飛躍の年にしたい——とも思いましたが、私はタチヨロのちびっ子から地に足をつけて一歩ずつ前進していきたいと思えます。皆さん、本年もぜひ「ちびっ子」をお願いいたします。（しらか）

